

# KENWOOD

## DPX-U700 DPX-U500

### MP3/WMA/AAC対応デュアルサイズCD/USBレシーバー 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド



# 目次

- 6 はじめに
  - 6 安全上のご注意
  - 8 時計を調整しよう
  - 10 本書の読みかた
  - 11 本機でできること
  - 12 ご使用の前に

## 14 まずはここから覚えてください

- 14 各部の名称とはたらき
- 16 共通の操作を覚えよう
  - 16 電源を入れてみよう
  - 16 音源を切り替えよう
  - 16 音量を調整しよう
  - 17 Function設定を操作しよう
- 18 お好みの音源を聴いてみよう
  - 18 ディスクを聴くには
  - 18 ラジオを聴くには
  - 19 USB機器を聴くには
  - 19 iPodを聴くには
  - 20 外部機器を聴くには

## 21 ディスクやオーディオファイルを聴く

- 21 本機で使えるメディアとオーディオファイル
- 21 USB機器を聴くときは
- 22 ディスク・オーディオファイル再生中の画面表示
- 22 ディスク・オーディオファイルの再生機能に使うボタン
- 23 いろいろな機能を使って再生しよう
  - 23 リピート・スキャン・ランダム再生をする
  - 24 聴きたい曲を探す（ミュージックサーチ）

## 26 iPodを聴く

- 26 iPodについて
- 27 iPod再生中の画面表示
- 27 iPod再生中に使うボタン
- 28 いろいろな機能を使って再生しよう
  - 28 iPodの操作を本機またはiPod本体に切り替える
  - 28 リピート・ランダム再生をする
  - 29 リストから曲を探す
  - 30 サーチモードで聴きたい曲を探す
  - 30 関連する曲を探す（リレーテッドサーチ）
  - 31 ジャンルと文字を選択して曲を探す（ダイレクトサーチ）（DPX-U700のみ）
  - 32 文字を入力して曲を探す（アルファベットサーチ）
  - 32 My Playlistを利用する

## 34 ラジオを聴く

- 34 ラジオ受信中の画面表示
- 34 交通情報を聴く
- 35 ラジオを聴く
  - 35 受信バンドを選択する
  - 35 聴きたい放送局を自動で探す
  - 36 放送局を手動登録する
  - 36 放送局を自動登録する（オートメモリー）
  - 36 登録した放送局を呼び出す

## 37 以前に使った項目をワンタッチで呼び出す (Log Function) (DPX-U700のみ)

- 37 Log Function項目を利用する
  - 37 登録された項目を呼び出す
  - 38 Log Function項目をロックする
  - 38 Log Function項目を削除する
  - 39 Log Functionカテゴリを設定する
  - 39 チューナー Log時間の変更

## 40 Bluetoothオーディオの操作をする (DPX-U700のみ)

- 40 『KCA-BT200/BT300』で使えるBluetoothオーディオ機器
- 40 使用を始める前に
- 41 Bluetoothオーディオ再生中に使うボタン

## 42 ハンズフリー通話の操作をする (DPX-U700のみ)

- 42 『KCA-BT200/BT300』で使える携帯電話
- 42 使用を始める前に
- 43 Bluetooth機器を登録する
- 43 本機から登録する (ペアリング)
- 44 携帯電話から登録する (ペアリング)
- 44 携帯電話を利用する
- 44 電話をかける
- 44 電話番号を入力して電話をかける
- 45 登録した番号に電話をかける
- 45 電話帳を利用する
- 46 履歴から電話をかける
- 47 音声で電話をかける
- 47 電話帳のカテゴリ表示について
- 47 電話を受ける
- 47 通話を終了する
- 48 ショートメッセージサービス (SMS) を利用する
- 49 いろいろな操作

## 50 本機の設定をする

- 50 ディスプレイの表示を設定しよう
- 53 全体の表示タイプを切り替える (DPX-U700)
- 53 左側の表示タイプを切り替える (DPX-U700)
- 53 項目名の表示を切り替える (DPX-U700)
- 54 スペアナの表示タイプを切り替える (DPX-U700)
- 54 時計表示を切り替える (DPX-U700)
- 54 ステータス表示を切り替える (DPX-U700)

- 55 ディスプレイの表示を切り替える (DPX-U500)
- 55 イルミネーション色を設定する
- 56 イルミネーション色を調整する
- 57 日付と時計表示を設定しよう (DPX-U700)
- 57 日付を調整する
- 57 時計を表示する2か所の都市を設定する
- 58 お好みの音質に設定しよう (オーディオコントロール)  
(DPX-U700)**
- 61 イコライザーカーブを調整する
- 61 タイムアライメントの設定
- 62 クロスオーバーの設定をする
- 63 DSP設定を登録する
- 64 DSP設定を呼び出す
- 65 お好みの音質に設定しよう (オーディオコントロール) (DPX-U500)**
- 66 音源ごとに設定を変更しよう**
- 68 Bluetoothの設定を変更しよう (DPX-U700)**
- 70 接続するBluetooth機器を選択する
- 70 ショートメッセージ (SMS) をダウンロードする
- 71 電話帳にボイスタグを設定する
- 72 カテゴリのボイスタグを設定する
- 72 特殊なBluetooth機器を登録する
- 73 Bluetooth機器の登録を削除する
- 73 PINコードを登録する
- 74 初期設定を変更しよう

## 76 こんなときは

- 76 困ったときに
- 82 本機を取り付けるときは
- 87 用語集
- 87 商標について
- 88 仕様
- 90 保証とアフターサービス (必ずお読みください)
- 91 ケンウッド 全国サービス網

# 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

## 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## ■ 絵表示の例



**注意**

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



**禁止**

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



**実施**

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



**警告**



**実施**

- 運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
  - ・カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やUSB機器の接続・取り出しなど）



## 警告



- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



- USB機器とUSBケーブルは、運転に支障をきたさないような場所に固定してください。
- 以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- ・ 音が出ない
- ・ ディスプレイが表示されない
- ・ 異物が入った
- ・ 水がかかった
- ・ 煙が出る
- ・ 変な匂いがする



- 修理は必ず購入店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



- 本製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

## 注意



- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



- 本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。
- 本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



- 本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。

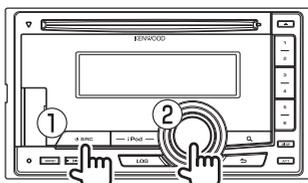
# 時計を調整しよう

本機をご使用になる前に、時計を調整しましょう。

## DPX-U700

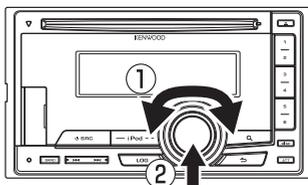
# 1

- ① **[SRC]** を押して電源を入れ、
- ② ボリュームノブを押す  
Function 画面が表示されます。



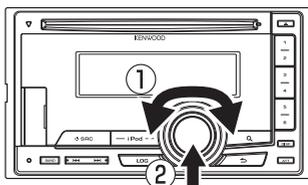
# 2

- ① ボリュームノブを回して **[Settings]** を選択し、
- ② ボリュームノブを押す



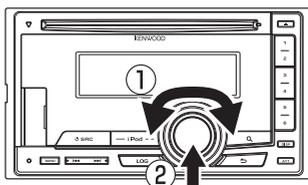
# 3

- ① ボリュームノブを回して **[Clock & Date]** を選択し、
- ② ボリュームノブを押す



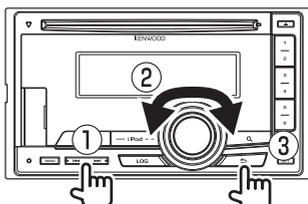
# 4

- ① ボリュームノブを回して **[Clock Adjust]** を選択し、
- ② ボリュームノブを押す



# 5

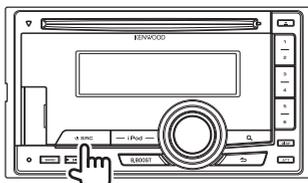
- ① **[<<]** **[>>]** を押して「時」または「分」選択し、
- ② ボリュームノブを回して調整する
- ③ **[>]** を1秒以上押して調整を終了する



## DPX-U500

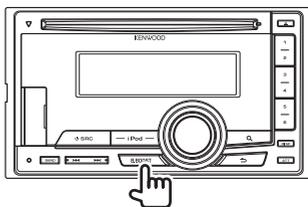
1

**SRC** を押して電源を入れる



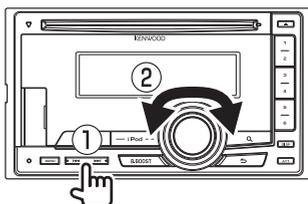
2

**B.BOOST** を1秒以上押して時計調整モードにする  
時計表示が点滅します。



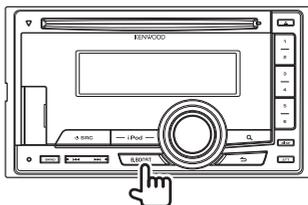
3

① **⏮** **⏭** を押して「時」  
または「分」選択し、  
② ボリュームノブを回して調整する



4

**B.BOOST** を1秒以上押して調整を終了する



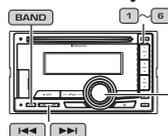
# 本書の読みかた

この取扱説明書には、以下のようなイラストや表示が使用されています。  
ここでは、それぞれの表示の意味をご紹介します。

「その操作でできること」をタイトルとして記載しています。目的の機能を探す目印としてお使いください。

対象ページ内で説明されている操作に必要なボタンを示しています。操作するボタンの位置確認にお役立てください。

## ラジオを聴く



ボリュームノブ  
以下のように操作します。  
例) [Settings] を選択する  
→ボリュームノブを回して [Settings] を  
選択し、ボリュームノブを押して決定する。

### 受信バンドを選択する

FM、AMの受信バンドを選択します。

- 1 [BAND] を押す  
押すごとに受信バンドが切り替わります。

### 聴きたい放送局を自動で探す

- 1 聴きたいバンドを選択する  
操作方法は「受信バンドを選択する」(P.35)をご覧ください。
- 2 [◀▶] または [▶▶] を押す  
受信状態の良い放送局が自動で受信されます。

♪ こんどは…  
・手動で周波数を合わせたい  
→ P.66を参照して、「Seek Mode」/「SEEK MODE」を「Manual」/「MANUAL」に設定し、[▶▶] または [◀▶] を押して周波数を合わせる。

### 放送局を自動登録する (オートメモリー)

放送局を自動的に放送局リストに登録します。

- 1 聴きたいバンドを選択する  
操作方法は「受信バンドを選択する」(P.35)をご覧ください。
- 2 ボリュームノブを回す
- 3 [Settings] / [SETTINGS] を選択する
- 4 [Auto Memory] / [AUTO MEMORY] を選択する
- 5 [YES] を選択する  
受信状態の良い放送局が、放送局リストに自動的に最大で6局分登録されます。

📖 MEMO  
・バンドごとに、6局の放送局を登録することができます。手動登録とオートメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。

枠で囲んだ文字は、ディスプレイに表示される文字を表しています。

章の内容を表しています。

関連する機能・操作を紹介しています。

操作に必要な条件やできないことなどの、補足情報を記載しています。

## 📖 MEMO

- ・本書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は、操作説明を円滑に行うための例です。そのため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

# 本機でできること

DPX-U700/ DPX-U500でできることをご紹介します。  
各機能の詳しい操作内容は参照先ページをご覧ください。

## ディスクを聴く

- CDはもちろん、MP3、WMA、AACの入ったCD-R/CD-RW/CD-ROMも聴ける！(P.21)

※ 本書では、MP3、WMA、AACをまとめて「オーディオファイル」と表記しています。



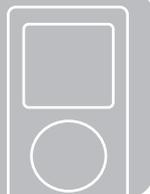
## ラジオを聴く

- よく聴く放送局を登録できる！(P.36)
- ワンタッチで放送局を呼び出せる！(P.36)



## iPodを聴く

- iPod、iPhoneの音楽を聴ける！(P.26)
- たくさんの曲から、聴きたい曲をすぐに見つける！(P.29)



## USB機器をつなぐ

- お手持ちのUSB機器に入っている音楽を聴ける！(P.19)
- 大量の曲も簡単に管理できる！(P.24)



## ポータブルオーディオなどをつなぐ

- お手持ちのデジタルオーディオプレーヤーとつないで再生できる！(P.20)

※ 別売品のミニプラグケーブル(φ3.5)  
(推奨品「CA-08MP」)が必要です。



# ご使用前に

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです。

## 表示できる文字について

DPX-U700：英数字、漢字、ひらがな、カタカナ  
DPX-U500：英数字

## DPX-U700に接続できるシステムについて

- 本機には、2002年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャーやBluetoothユニットが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、Bluetoothユニットの機種名はカタログをご覧ください。
- 接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。
- 別売品のKCA-S220Aを使用すると、ディスクチェンジャーなどを合計2台まで接続できます。
- 本機およびKCA-S220Aには2001年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続できません。接続すると、破損や故障の原因となります。

## 使用できる別売品のリモコンについて

別売品のリモコンについては、カタログをご覧ください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

## お手入れについて

本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。

また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

## レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

## オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、音源をラジオにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外の音源に切り替えてください。

## 温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げると、保護回路が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタン(P.78)を押してください。

### 結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

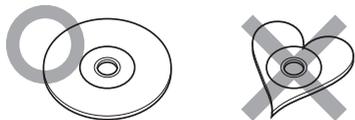
### お気をつけください

- USB機器、iPodを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USB機器、iPodが変形や故障する場合があります。

- 以下のディスクは使用しないでください。

#### 特殊な形状のディスク

円形以外のディスクは、故障の原因になります。



#### 記録面（レーベル面の裏）に着色や汚れがあるディスク

引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。



#### マークのないディスク

正しく再生されない可能性があります。

#### ファイナライズ処理していないCD-R、CD-RW

お使いのCD-R/CD-RWライティングソフト、CD-R/CD-RWレコーダーの取扱説明書を参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理（ファイナライズ処理）

を行ってください。

ただし、CD-R/CD-RWはファイナライズ処理をしていても、記録状態によって再生できない場合があります。

#### 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク

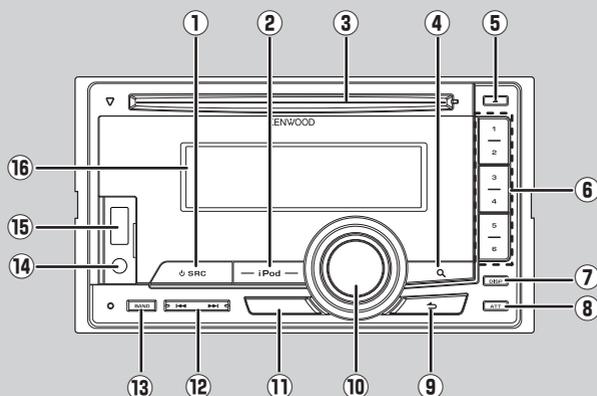
音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。

#### 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク

ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 本機からディスクを取り出すときは、ディスクを下側に強く押さず、水平方向に引き出してください。ディスクを下側に押すと、記録面に傷を付ける原因となります。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCDは使用できません。8cmCDを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

# 各部の名称とはたらき



## ■各ボタンの機能

番号	名称	動作
①	ソースボタン SRC	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の電源をオンします。1秒以上押しと、本機の電源をオフします。(P.16)</li> <li>ラジオやCDなどの音源を切り替えます。(P.16)</li> </ul>
②	iPodボタン iPod	<ul style="list-style-type: none"> <li>音源がiPodに切り替わります。(P.16)</li> <li>音源がiPodのときに押しすとiPod by Handが切り替わります。(P.28)</li> </ul>
③	ディスク挿入口	ディスクの差込口です。(P.18)
④	サーチボタン Q	CDやiPod、オーディオファイル再生時に、曲を検索します。(P.24) (P.29)
⑤	イジェクトボタン ▲	ディスクを取り出します。(P.18)
⑥	プリセットボタン 1 2 3 4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>2秒以上押しと放送局を登録します。(P.36)</li> <li>CDやiPod、オーディオファイルの再生機能を切り替えます。(P.23) (P.28)</li> </ul>
⑦	ディスプレイボタン DISP	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスプレイの表示を切り替えます。(P.53) (P.55)</li> <li>1秒以上押しと、再生中の曲タイトルなどをスクロールさせます。</li> </ul>
⑧	アッテネーターボタン ATT	<p>音量が素早く小さくなります。</p> <p>もう一度押しと元の音量に戻ります。</p>
⑨	リターンボタン ↶	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定操作中、一つ前の項目に戻ります。(P.17)</li> <li>オーディオファイル選択時は、一つ上のフォルダに戻ります。</li> <li>1秒以上押しと、設定モードやオーディオコントロールモードまたはミュージックサーチモードを解除します。</li> </ul>

## 各部の名称とはたらき

番号	名称	動作
⑩	ボリュームノブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 左右に回して、音量を調節します。(P.16)</li> <li>• 押すと各機能の設定モードに切り替えます。(P.17)</li> <li>• 設定操作時に、回して項目を選択し、押してその項目の設定を決定します。(P.17)</li> <li>• CDやiPod、オーディオファイルの検索中に押して、選択した曲やフォルダを決定します。(P.24) (P.29)</li> </ul>
⑪	ログボタン (DPX-U700) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動的に記憶された項目がリスト表示されます。(P.37)</li> <li>• 1秒以上押すと、Bluetoothモードに切り替わります。* (P.43)</li> </ul>
⑪	バスブーストボタン (DPX-U500) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 押すたびに低音が2段階に増強されます。</li> <li>• 1秒以上押すと、時計調整モードになります。(P.8)</li> </ul>
⑫	シークボタン 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ラジオの周波数を切り替えます。(P.35)</li> <li>•  を1回押すと、再生中の曲を先頭から再生します。2回押すと、1つ前の曲を再生します。</li> <li>•  を押すと、1つ後の曲を再生します。</li> <li>• 押し続けると、早戻し/早送りします。</li> </ul>
⑬	バンドボタン 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ラジオ受信時に、バンドを選択します。(P.35)</li> <li>• オーディオファイル再生時に、次のフォルダに進めます。(P.22)</li> <li>• ディスクチェンジャー再生中に、次のディスクに切り替えます。</li> </ul>
⑭	AUX端子	ポータブルオーディオ機器などの外部機器を接続します。(P.20)
⑮	USB端子	USB機器/ iPodを接続します。(P.19)
⑯	ディスプレイ	時計や再生中の曲の情報など、本機の動作内容を表示します。

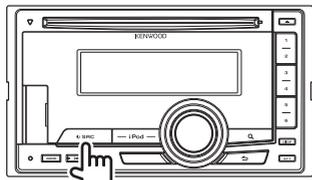
\* 別売品の「KCA-BT200/BT300」接続時に操作できます。

# 共通の操作を覚えよう

## 電源を入れてみよう

まずは本機の電源を入れてみましょう。

### 1 [SRC] を押す



本機の電源がオンになります。

[SRC] を1秒以上押すと、本機の電源がオフになります。

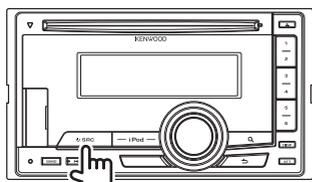
[CD CH] など：ディスクチェンジャーなどの外部プレーヤー（別売品）  
(DPX-U700のみ)

### MEMO

- 使用できない音源には切り替えられません。(例：ディスクが入っていないときには、[CD] に切り替わりません)
- 「初期設定を変更しよう」(P.74) で「Source Select」を「2」に設定している場合は、[SRC] を押したあとに、ボリュームノブを回して音源を表示させ、ボリュームノブを押すと音源が切り替わります。(DPX-U700のみ)
- iPodの接続が認識されると、画面の表示は「USB」から「iPod」に変わります。

## 音源を切り替えよう

### 1 [SRC] を聴きたい音源が表示されるまで数回押す



[iPod] を押すと音源をすぐにiPodにできます。

ディスプレイの表示は以下の音源を示しています。

[STDBY] / [STANDBY]：何も再生していない状態

[TUNER]：ラジオ

[USB]：USB機器

[iPod]：iPod、iPhone

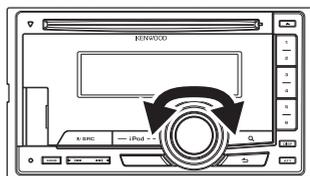
[CD]：ディスク

[AUX]：内部AUX

## 音量を調整しよう

### 1 ボリュームノブを回す

右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。  
設定操作中には音量調整ができません。



[ATT] を押すと、素早く音量を小さくできます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

## Function設定を操作しよう

本機では、音源ごとの設定をFunction設定で行います。ここでは、Function設定画面とリスト画面の操作方法について説明します。

### 1 ボリュームノブを押す

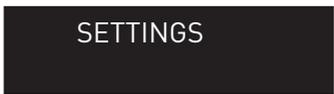
Function設定画面が表示されます。



DPX-U700 :



DPX-U500 :

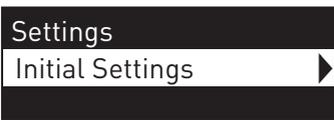


### MEMO

- 選択している音源により、設定できる項目は異なります。

### 2 ボリュームノブを回して項目を選択する

DPX-U700 :



DPX-U500 :



選択している項目が移動します。

### 3 ボリュームノブを押して選択した項目を決定する

本書では手順2～3の操作を

「Initial Settings」/「INITIAL SET」を選択する」と表記しています。

### MEMO

- Function設定画面以外のリスト画面でも、選択・決定の操作方法は同様です。
- 1つ前の階層に戻るときは、 を押します。  
 を1秒以上押しすと、Function設定が終了します。

# お好みの音源を聴いてみよう

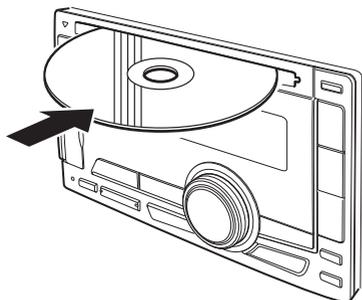
本機で聴けるそれぞれの音源の基本操作について説明します。

## ディスクを聴くには

### ディスクを挿入する

- 1 ディスク挿入口にディスクを水平に差し込む

差し込んだディスクが再生されます。

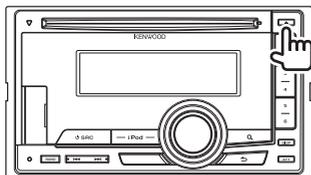


### MEMO

- 8cmディスクは使用できません。

### ディスクを取り出す

- 1  を押す



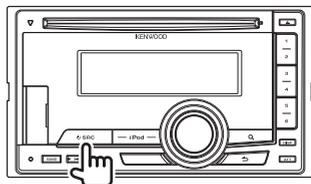
#### • こんなときは… •

- 再生機能を変えたい → P.23
- すでに本機に入っているディスクを再生したい → ディスプレイに **CD** と表示されるまで **SRC** を押す。
- 再生できるオーディオファイルの種類を知りたい → P.21

## ラジオを聴くには

- 1 **SRC** を **TUNER** と表示されるまで押す

ラジオが受信されます。



#### • こんなときは… •

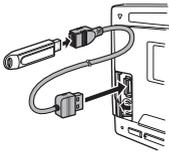
- バンドを変えたい → P.35
- 聴きたい放送局を探す → P.35

## USB機器を聴くには

### USB機器を接続する

- 1 USB機器が接続されたUSBケーブル(別売品)を、USB端子に差し込む

USB機器内のオーディオファイルが再生されます。



#### MEMO

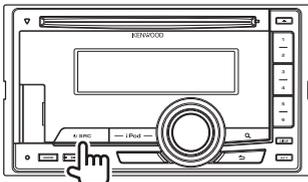
- USBケーブルは、CA-U1EX(別売品)の使用を推奨します。

#### ● こんなときは… ●

- 再生機能を変えたい → P.23
- すでに接続されているUSB機器を再生したい → ディスプレイに「USB」と表示されるまで「SRC」を押す。
- 再生できるオーディオファイルの種類を知りたい → P.21

### USB機器を取り外す

- 1 「SRC」を押して、音源表示を「USB」以外にする



- 2 USB機器を取り外す

#### MEMO

- この操作を行わずにUSB機器を取り外すと、USB機器内のデータが破損する場合があります。
- 充電式USB機器の場合、接続中に充電されます。(本機の電源オン時のみ)

## iPodを聴くには

### iPodを接続する

- 1 お手持ちのiPodをiPod接続ケーブル KCA-iP102(別売品)を使用して、USB端子に差し込む

iPod内のオーディオファイルが再生されます。

#### ● こんなときは… ●

- 再生機能を変えたい → P.28
- すでに接続されているiPodを再生したい → ディスプレイに「iPod」と表示されるまで「SRC」を押す。
- iPod内の曲を選びたい → P.29

### iPodを取り外す

- 1 「SRC」を押して、音源表示を「iPod」以外にする

### 2 iPodを取り外す

#### MEMO

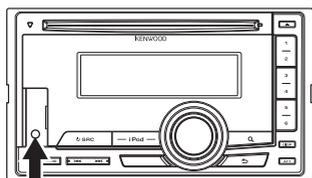
- この操作を行わずにiPodを取り外すと、iPod内のデータが破損する場合があります。
- iPod接続中は、iPodが充電されます。(本機の電源オン時のみ)

## 外部機器を聴くには

- 1 AUX端子に市販のミニプラグケーブル（3.5φ）を差し込む

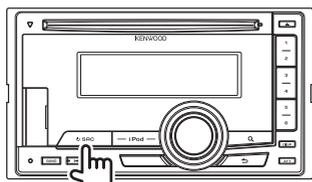
### MEMO

- 接続するミニプラグケーブルは、抵抗の入っていないステレオタイプのものを使用してください。CA-08MP（別売品）の使用をお勧めします。



- 2 ケーブルをお手持ちの外部機器のヘッドホン端子に接続する

- 3 **SRC** を **AUX** と表示されるまで押す



- 4 外部機器を再生する

外部機器が本機から再生されます。

#### • こんなときは… •

- すでに接続されている外部機器を聴きたい → **SRC** を押してボリュームノブを回し、**AUX** を選択する。

### MEMO

- “AUX” 表示やKCA-S220Aを使用した“AUX EXT” (DPX-U700のみ) 表示は変えることができます。(P.66)



# ディスクやオーディオファイルを聴く

## 本機で使えるメディアとオーディオファイル

本機で使用できるメディアやオーディオファイルの種類、使用できる接続機器は以下のとおりです。

ディスク種類	CD-R、CD-RW、CD-ROM
ディスクフォーマット	ISO 9660 Level 1/2、Joliet、Romeo、Long file name
オーディオファイル	AAC-LC (.m4a)、MP3 (.mp3)、WMA (.wma)
USB機器	USBマストレージクラス
USB機器ファイルフォーマット	FAT16、FAT32

(2010年11月現在)

### MEMO

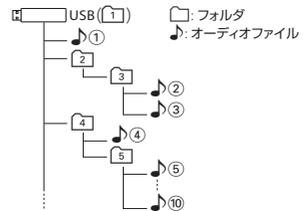
- 上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアおよび機器の種類やコンディションによっては、正常に再生されない場合があります。
- オーディオファイルは、あらかじめバックアップを行っておいてください。USB機器の使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしませんのでご了承ください。
- オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、[www.kenwood.com/audiofile/](http://www.kenwood.com/audiofile/)で公開しています。

## USB機器を聴くときは

以下のお知らせをよく読んでからご使用ください。

### オーディオファイルの再生順序

右図の例では、①から⑩の順で再生されます。思った通りの順番で再生されない場合は、KENWOOD Music Editor (下記) を使用してデータベースを作成することをお勧めします。



### KENWOOD Music Editorについて

本機は、“KENWOOD Music Editor Light ver 1.1”以降に対応しています。

KENWOOD Music Editorとは、USB機器に入っている曲の選択操作を便利にするためのPCアプリケーションです。

KENWOOD Music Editorを使用すると、オーディオファイルにデータベースを付加することで、タイトル・アルバム名・アーティスト名などでの検索が可能になります。

“KENWOOD Music Editor Light ver 1.1”は、[www.kenwood.co.jp/faq/](http://www.kenwood.co.jp/faq/)からダウンロードできます。

アプリケーションの詳しい情報は、サイトまたはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

## ディスク・オーディオファイル再生中の画面表示

CD・オーディオファイル再生中の画面表示について説明します。

DPX-U700（初期設定画面）



DPX-U500（初期設定画面）

（曲のタイトルが記録されているときはタイトル表示）



### MEMO

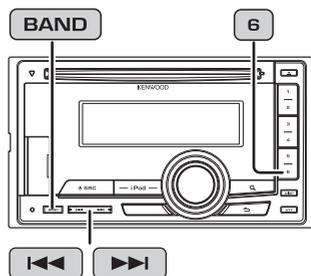
- ・ **DISP** を押すごとに、ディスプレイの表示を変更することができます。詳しくは「全体の表示タイプを切り替える（DPX-U700）」（P.53）、「ディスプレイの表示を切り替える（DPX-U500）」（P.55）をご覧ください。

## ディスク・オーディオファイルの再生機能に使うボタン

再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

曲の検索など通常再生以外に使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。

- 一時停止する → **G** を押す
- 一時停止から再生する → **G** を押す
- 早送りする → **▶▶** を押し続ける
- 早戻しする → **◀◀** を押し続ける
- 曲の先頭に戻る → **◀◀** を押す
- 次の曲を聴く → **▶▶** を押す
- 次のフォルダに進む → **BAND** を押す
- 前の曲を聴く → **◀◀** を2回押す

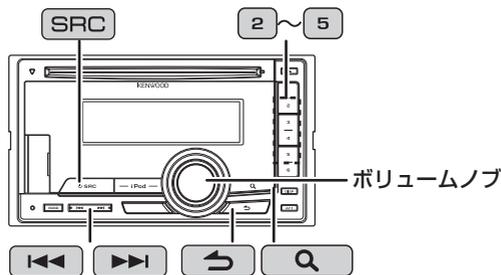


### MEMO

- ・ オーディオファイルでは、早送り/早戻し中には音声が出ません。
- ・ 音楽ファイルが入っていないフォルダは選択できません。



# いろいろな機能を使って再生しよう



## リピート・スキャン・ランダム再生をする

ディスク・フォルダ内の曲を繰り返し再生したり、順不同に再生します。また、スキャン再生を行うと、ディスク・フォルダ内の各曲を先頭から10秒間ずつ再生します。聴きたい曲を探すときに便利です。

**1** **2** ~ **5** を押す

### CDの場合

機能	ボタン	表示
各曲の最初の部分を10秒間ずつ再生します。(スキャンプレイ)	<b>2</b>	Track Scan ON TRACK SCAN
ディスクの曲をランダムな順番で再生します。(ランダムプレイ)	<b>3</b>	Disc Random ON DISC RANDOM
再生中の曲を繰り返し再生します。(リピートプレイ)	<b>4</b>	Track Repeat ON TRACK REPEAT

### オーディオファイルの場合

機能	ボタン	表示
フォルダの各曲の最初の部分を10秒間ずつ再生します。(ファイルスキャンプレイ)	<b>2</b>	File Scan ON FILE SCAN
フォルダの曲をランダムな順番で再生します。(フォルダランダムプレイ)	<b>3</b>	Folder Random ON FOLDER RANDOM
再生中の曲を繰り返し再生します。もう一度押すと、再生中のフォルダを繰り返し再生します。(ファイル/フォルダリピートプレイ)	<b>4</b>	File Repeat ON → Folder Repeat ON FILE REPEAT → FOLDER REPEAT

### MEMO

- KENWOOD Music Editorを使用して作成したデータでは、フォルダリピートプレイはできません。

ディスクやオーディオファイルを聴く

▶次ページへつづく

## ディスクチェンジャーの場合 (DPX-U700のみ)

機能	ボタン	表示
各曲の最初の部分を10秒間ずつ再生します。(スキャンプレイ)	<b>2</b>	Track Scan ON
ディスクの曲をランダムな順番で再生します。(ディスクランダムプレイ)	<b>3</b>	Disc Random ON
再生中の曲を繰り返し再生します。もう一度押すと、再生中のディスクを繰り返し再生します。(トラック/ディスクリピートプレイ)	<b>4</b>	Track Repeat ON → Disc Repeat ON
ディスクチェンジャーのすべての曲をランダムな順番で再生します。(マガジンランダムプレイ)	<b>5</b>	Magazine Random ON

### MEMO

- スキャンプレイはすべての曲がスキャン再生されると、自動的に終了します。

## 聴きたい曲を探す (ミュージックサーチ)

曲をリスト表示にして探します。

**1**  を押す

**2** 以下の操作で聴きたい曲を選択する

### 内蔵CDの場合

トラックリストが表示されます。以下の操作で聴きたい曲を探します。

動作	操作
トラック表示切り替え	ボリュームノブを回します。
トラック再生	ボリュームノブを押します。

### オーディオファイルの場合

再生中のフォルダが表示されます。以下の操作で聴きたい曲を探します。

動作	操作
フォルダ、ファイル表示の切り替え	ボリュームノブを回します。
表示フォルダの選択または表示ファイルの再生	ボリュームノブを押します。
1つ前の項目に戻る	 を押します。
Music Editorでデータを付加している場合に、全曲の0.5%の曲をスクロールする(スキップサーチ)	  を押す。

### ♪ こんなときは…

- ミュージックサーチを中止する  
→  を1秒以上押す。



## MEMO

- KENWOOD Music Editorを使用してオーディオファイルのデータベースを作成している場合は、タイトル・アルバム名・アーティスト名などのフォルダが表示されます。
- スキップサーチのスクロールする割合の変更については「音源ごとに設定を変更しよう」(P.66)をご覧ください。

# iPodを聴く

## iPodについて

iPodは別売品のiPod接続ケーブル KCA-iP102で接続します。音源選択の [USB] 表示は iPod 認識後に [iPod] となり、本機からの操作が可能になります。本書で断りの無い限り、「iPod」と呼んでいるのは別売品のiPod接続ケーブル KCA-iP102で接続されたiPodおよびiPhoneを指します。

本機から操作できるiPodは以下のとおりです。

Made for

- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPod with video
- iPod classic
- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

### 📖 MEMO

- iPodを接続すると、本機での再生はiPodで再生していた曲から始まります。
- iPodに“KENWOOD”と表示されているときは、iPodの操作はできません。
- iPodのソフトウェアに関する適合情報は[www.kenwood.com/cs/ce/ipod/](http://www.kenwood.com/cs/ce/ipod/)を参照してください。
- 接続しているiPodにより、使用できる機能が異なります。詳しくは[www.kenwood.com/cs/ce/ipod/](http://www.kenwood.com/cs/ce/ipod/)を参照してください。



## iPod再生中の画面表示

iPod再生中の画面表示について説明します。

### DPX-U700（初期設定画面）



### DPX-U500（初期設定画面）

（曲のタイトルが記録されているときはタイトル表示）

再生中の曲番号表示 再生時間



### MEMO

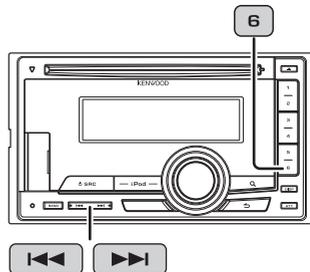
- **[DISP]** を押すごとに、ディスプレイの表示を変更することができます。詳しくは「全体の表示タイプを切り替える（DPX-U700）」（P.53）、「ディスプレイの表示を切り替える（DPX-U500）」（P.55）をご覧ください。

## iPod再生中に使うボタン

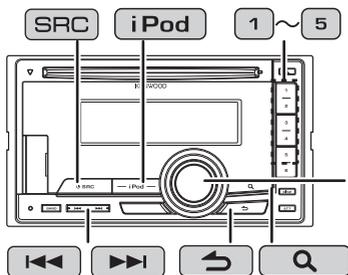
再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

曲の検索など通常再生以外に使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。

- 一時停止する → **[⏸]** を押す
- 一時停止から再生する → **[▶]** を押す
- 早送りする → **[⏩]** を押し続ける
- 早戻しする → **[⏪]** を押し続ける
- 曲の先頭に戻る → **[⏮]** を押す
- 次の曲を聴く → **[▶]** を押す
- 前の曲を聴く → **[⏮]** を2回押す



## いろいろな機能を使って再生しよう



### ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) **Delete One** を選択する

→ボリュームノブを回して**Delete One**を選択し、ボリュームノブを押して決定する。

### iPodの操作を本機またはiPod本体に切り替える

iPod接続中は、本機から操作できるモード(iPod by HandがOFFの状態)と、iPodから操作できるモード(iPod by HandがONの状態)のいずれかで操作します。

モードを切り替えるには以下の手順を行います。

**1** **SRC** を押して、音源表示を **iPod** にする

iPodを接続すると自動的に**iPod**になります。

**2** **iPod** を押してON/OFFを切り替える

#### MEMO

- 接続したiPodがiPod by Handに対応している場合のみ操作できます。対応していないiPodを接続した場合は、設定項目が表示されません。詳しくは[www.kenwood.com/cs/ce/ipod/](http://www.kenwood.com/cs/ce/ipod/)を参照してください。
- iPod by HandをONにしているときは、本機からの操作はできません。
- iPod by HandのON時は、本機のディスプレイに“iPod by Hand Mode”/“iPod Mode”と表示されます。

### リピート・ランダム再生をする

iPod内の曲を繰り返し再生したり、順不同に再生します。

**1** **3** **4** を押す

機能	ボタン	表示
現在の項目の曲をランダムな順番で再生します。(ランダムプレイ)	<b>3</b>	Folder Random ON FOLDER RANDOM
1秒以上押すとiPod内のすべての曲をランダムな順番で再生します。(オールランダムプレイ)	<b>3</b> 1秒押す	All Random ON ALL RANDOM
再生中の曲を繰り返し再生します。(リピートプレイ)	<b>4</b>	File Repeat ON FILE REPEAT

#### MEMO

- iPodの曲数によっては、全曲ランダムに切り替わるまでに時間がかかることがあります。
- オールランダムをONにすると、iPodのリスト項目が“Songs”に変更されます。All Random機能をOFFにしても“Songs”のままとなります。
- オールランダムがONのときに、リストか



- ら曲を変更すると、All Random機能はOFFになり、選択した項目内の全曲をランダム (Folder Random) に再生します。
- My Playlist (P.32)の曲を再生中は、ランダム再生はできません。

## リストから曲を探す

リストから聴きたい曲を探します。(ミュージックサーチ)

1

 を押す

以下の項目が表示されます。

表示	項目
Playlists/PLAYLISTS	プレイリスト
Artists/ARTISTS	アーティスト
Albums/ALBUMS	アルバム
Songs/SONGS	曲名やファイル名
Podcasts/PODCASTS	ポッドキャスト
Genres/GENRES	ジャンル
Composers/ COMPOSERS	作曲家

## 2 以下の操作で聴きたい項目を選択する

曲名を選択するまで同様の操作を繰り返します。

動作	操作
リストの切り替え	ボリュームノブを回します。
リスト選択または選択した曲の再生	ボリュームノブを押します。
1つ前の項目に戻る	 を押します。
全曲の0.5%分の曲をスクロールする (スキップサーチ)	  を押す。

選択した曲を含むリストが再生されます。

### ♪ こんなときは…

- ミュージックサーチを中止する  
→  を1秒以上押す。

### MEMO

- スキップサーチのスクロールする割合の変更については「音源ごとに設定を変更しよう」(P.66)をご覧ください。
- 曲名などで表示できない文字は“?”または空白が表示されます。ただし、すべての文字を表示できない場合は、選択したリスト名と数字で表示します。

表示	項目
"PLIST***"	プレイリスト
"ART***"	アーティスト
"ALB***"	アルバム
"PRGM***"	曲名やファイル名
"PDCT***"	ポッドキャスト
"GEN***"	ジャンル
"COM***"	作曲家

## サーチモードで聴きたい曲を探す

探したい曲に最適な検索方法を、3種類のサーチモードから選択できます。

- 1**  を押す  
サーチモードの各機能は以下のとおりです。

### 通常表示中

機能	ボタン
再生中の曲に関連する曲を検索します。(リレーテッドサーチ)(P.30)	<b>1</b>
聴きたい曲のリスト項目と頭文字を指定して検索します。(ダイレクトサーチ)(P.31) (DPX-U700のみ)	<b>2</b>

### リスト項目表示中

機能	ボタン
選択中のリスト項目から、アルファベットで検索します。(アルファベットサーチ)(P.32)	<b>3</b>

- 2** **1** ~ **3** を押す

以降の操作は、各モードの説明ページをご覧ください。

### ♪ こんなときは…

- ・ サーチモードを中止する  
→  を1秒以上押す。

## 関連する曲を探す (リレーテッドサーチ)

再生中の曲の情報をもとに、その曲に関連するアーティスト、アルバム、曲を検索します。

- 1**  を押す

- 2** **1** を押す

- 3** 検索する項目を選択する

表示	機能
Search Artist SRCH ARTIST	現在再生している曲のアーティストのアルバムリストが表示されます。
Search Album SRCH ALBUM	現在再生している曲が含まれるアルバム内の曲リストが表示されます。
Search Genre SRCH GENRE	現在再生している曲と同じジャンルのアーティストのリストが表示されます。
Search Composer SRCH COMPOSER	現在再生している曲と同じ作曲者の曲が含まれるアルバムリストが表示されます。

検索が開始され、該当するリストが表示されます。ここからは、「リストから曲を探す」(P.29)の手順2を参照して曲を選びます。

### MEMO

- ・ Podcasts再生中は使用できません。



## ジャンルと文字を選択して曲を探す (ダイレクトサーチ) (DPX-U700のみ)

聴きたい曲のリスト項目と頭文字を指定して曲を検索します。

1  を押す

2  を押す

3 検索するリスト項目を選択する  
ボリュームノブを回して、1列目のリスト項目を選択します。ボリュームノブを押すと次の列に進みます。

表示	項目
PLAY LIST	プレイリスト
ARTIST	アーティスト
ALBUM	アルバム
SONG	曲名やファイル名
PODCAST	ポッドキャスト
GENRE	ジャンル
COMPOSER	作曲者

4 検索する頭文字を選択する  
ボリュームノブを回して、2～4列目で聴きたい曲やアーティスト名の頭文字を3文字まで入力します。ボリュームノブを押すと次の列に進みます。

### MEMO

-  または  を押すと列が前後に進みます。
- 入力できる文字は、A～Z、0～9、\*です。A～Z、または0～9以外の文字で始まる曲を検索したいときは「\*」を1文字目に入力します。「\*」を入力すると、2～3文字目は入力できません。
- a/an/theのような冠詞や記号、スペースは検索対象となりません。それらで始まる場合は、その後続く文字で探します。

5  を選択する

検索が開始され、該当する曲のリストが表示されます。ここからは、「リストから曲を探す」(P.29)の手順2を参照して曲を選びます。

## 文字を入力して曲を探す (アルファベットサーチ)

選択中のリスト項目から、特定の文字を含む曲を検索します。

- 1  を押す
- 2 聴きたい曲のリストを選択する
- 3  を押す
- 4 以下の操作で聴きたい曲を探します。

### DPX-U700

動作	操作
文字の切り替え	ボリュームノブを回します。
文字の決定	ボリュームノブを押します。

### DPX-U500

動作	操作
文字の切り替え	ボリュームノブを回します。
文字の入力位置の移動	  を押す。
文字の決定（検索の開始）	ボリュームノブを押します。

- 5 リストから曲を選択する  
曲を選択するとサーチモードが解除され、再生が始まります。

### MEMO

- iPodの曲数によっては、検索に時間がかかる場合があります。
- a/an/theのような冠詞や記号、スペースは検索対象となりません。それらで始まる場合は、その後に続く文字で探します。

## My Playlistを利用する

お好みの曲を本機のMy Playlistに登録して再生することができます。登録できる曲数は最大10曲です。

### MEMO

- この機能が利用できるiPodの種類は、[www.kenwood.com/cs/ce/ipod/](http://www.kenwood.com/cs/ce/ipod/)をご覧ください。

## My Playlistに登録する

- 1 登録したい曲を再生中に  を2秒以上押す  
再生中の曲がMy Playlistに登録されます。

### MEMO

- My Playlistは1台のiPodに入っている曲からのみ選択して作成します。
- Podcastsは登録しないでください。意図していない曲が登録されてしまうなど、正しく登録・再生できない場合があります。
- 同じ曲を複数登録することもできます。
- 登録したiPodとは異なるiPodを接続して登録操作をすると、“Delete My Playlist All Delete?”/“MPLIST DELETE” と表示されます。この後、 を選ぶと、My Playlistが削除されます。

## My Playlistを再生する

- 1  を押す
- 2 聴きたい曲を選択して  
ボリュームノブを押す  
選択した曲の再生が始まります。



## 📖 MEMO

- リスト内の最終曲の再生が終了すると1曲目の再生が始まり、My Playlist内で全曲再生を行います。
- ミュージックサーチを行うと、My Playlistモードは解除されます。
- ACCや電源をオフにするとMy Playlistモードは解除されます。

## My Playlistから曲を削除する

1 **5** を押す

2 ボリュームノブを1秒以上押す

3 **Delete One** / **DELETE ONE**  
または **Delete All** /  
**DELETE ALL** を選択する

## 📖 MEMO

- **Delete One** / **DELETE ONE** を選ぶとリスト表示で選択した曲のみを削除します。**Delete All** / **DELETE ALL** を選択するとMy Playlistに登録されている曲をすべて削除します。

4 **YES** を選択する  
My Playlistから曲が削除されます。

## 📖 MEMO

- My Playlistの全曲削除は、Function設定の“Settings”/“SETTINGS”→“Delete My Playlist”/“MPLIST DELETE”でも行えます。(P.66)



# ラジオを聴く

## ラジオ受信中の画面表示

ラジオ受信中の画面表示について説明します。

DPX-U700 (初期設定画面)



DPX-U500 (初期設定画面)



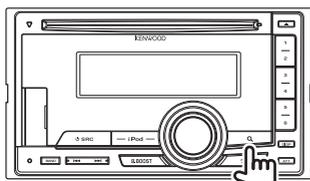
### MEMO

- **[DISP]** を押すごとに、ディスプレイの表示を変更することができます。詳しくは「全体の表示タイプを切り替える (DPX-U700)」(P.53)、「ディスプレイの表示を切り替える (DPX-U500)」(P.55) をご覧ください。
- 受信状態が悪いときなど、FMステレオ放送をモノラルで受信して雑音を軽減することができます。(P.66)
- ミックスプリセットモード (P.74) 中は、プリセットチャンネル番号は表示されません。

## 交通情報を聴く

再生中の音源に関わらず、いつでも交通情報を聴くことができます。

**1** **[Q]** を1秒以上押す



交通情報が受信されます。

もう一度 **[Q]** を1秒以上押すと、交通情報を受信前の状態に戻ります。



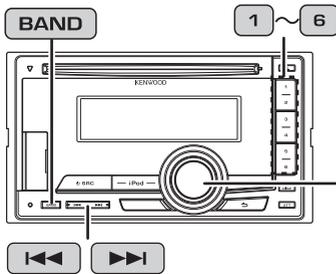
## ♪ こんなときは…

- 交通情報の受信周波数を切り替えたい  
→ **◀◀** または **▶▶** を押し、522kHz/1620kHz/1629kHzのいずれかに合わせる。

## MEMO

- 交通情報の受信中にボリュームノブで音量を調整すると、その音量は記憶され、次に交通情報を受信したときも同じ音量で聴くことができます。

## ラジオを聴く



## ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) **[Settings]** を選択する

→ ボリュームノブを回して **[Settings]** を  
選択し、ボリュームノブを押して決定する。

## 受信バンドを選択する

FM、AMの受信バンドを選択します。

- 1** **[BAND]** を押す  
押すごとに受信バンドが切り替わります。

## 聴きたい放送局を自動で探す

- 1** 聴きたいバンドを選択する  
操作方法は「**受信バンドを選択する**」(P.35)をご覧ください。
- 2** **◀◀** または **▶▶** を押す  
受信状態の良い放送局が自動で受信されます。

## ♪ こんなときは…

- 手動で周波数を合わせたい  
→ P.66を参照して、“Seek Mode” / “SEEK MODE” を “Manual” / “MANUAL” に設定し、**▶▶** または **◀◀** を押し、周波数を合わせる。



## 放送局を手動登録する

受信している放送局を放送局リストに登録できます。リストに登録すると、簡単に呼び出すことができます。

### 1 お好みの放送局を受信する

- 2 **1** ~ **6** を2秒以上押す  
2秒以上押したボタンに、受信中の放送局が登録されます。

#### MEMO

- 登録済みのボタンには上書きで登録されます。
- 「初期設定を変更しよう」(P.74)の「Tuner Preset Type」/「PRESET TYPE」を「TYPE Mixed」/「TYPE MIXED」に設定するとミックスプリセットモードになります。  
ミックスプリセットモードにすると、放送局の登録・呼び出しに関してAMとFMの区分けがなくなります。  
ミックスプリセットモードに記憶した放送局は、バンドを切り替えることなく希望する放送局を呼び出せます。  
ただしミックスプリセットモード中に登録できる放送局は6局までになります。

## 放送局を自動登録する (オートメモリー)

放送局を自動的に放送局リストに登録します。

- 1 聴きたいバンドを選択する  
操作方法は「受信バンドを選択する」(P.35)をご覧ください。
- 2 ボリュームノブを押す
- 3 **Settings** / **SETTINGS** を選択する

- 4 **Auto Memory** / **AUTO MEMORY** を選択する

- 5 **YES** を選択する  
受信状態の良い放送局が、放送局リストに自動的に最大で6局分登録されます。

#### MEMO

- バンドごとに、6局の放送局を登録することができます。手動登録とオートメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。
- ミックスプリセットモード(P.74)中はオートメモリーはできません。

## 登録した放送局を呼び出す

放送局リストに登録した放送局を呼び出します。

- 1 聴きたいバンドを選択する  
操作方法は「受信バンドを選択する」(P.35)をご覧ください。
- 2 **1** ~ **6** を押す  
選択した放送局が受信されます。

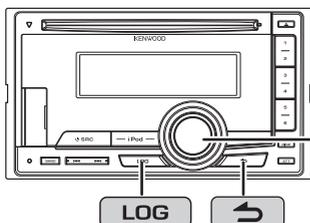
#### ♪ こんなときは…

- 登録された放送局を順に受信したい  
→ P.66を参照して、「Seek Mode」/「SEEK MODE」を「Auto2」/「AUTO2」に設定すると、**◀◀**  
**▶▶** を押すごとに順に受信します。  
(ミックスプリセットモード(P.74)中もAM、FM別に受信します)



# 以前に使った項目をワンタッチで呼び出す (Log Function) (DPX-U700のみ)

## Log Function項目を利用する



ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) **Settings** を選択する

→ ボリュームノブを回して **Settings** を  
選択し、ボリュームノブを押して決定する。

### 登録された項目を呼び出す

以前に使用した項目は自動的にLog Functionに登録されます。

#### 1 LOG を押す

Log Functionリストが表示されます。

#### 2 呼び出したい項目を選択し、ボリュームノブを押す

項目の категория が項目名の前に表示されます。

表示	カテゴリー
FM	FM放送
AM	AM放送
iPod	iPodの曲
USB	USBの曲
CD	オーディオファイルの曲
INIT	イニシャル設定の項目
SET	設定項目
DISP	表示設定の項目
AUD	オーディオ設定の項目
BT※	電話番号

※別売品の「KCA-BT200/BT300」が必要です。

#### ♪ こんなときは…

- Log Function呼び出しを中止する  
→ を押す。

#### MEMO

- 項目は最近使用した15件がメモリーされます。16件以降は古いメモリーから順に削除されます。
- メモリーされた項目が削除されないようにするには「**Log Function項目をロックする**」(P.38)を参照してください。
- メモリーされた項目の削除は「**Log Function項目を削除する**」(P.38)を参照してください。
- Logするカテゴリーの設定は「**Log Functionカテゴリを設定する**」(P.39)を参照してください。
- 放送局は1分間受信後にメモリーされます。メモリーされるタイミングの変更は「**チューナーLog時間の変更**」(P.39)を参照してください。
- iPodやUSB、挿入されているCDの収録曲を変更した場合、変更される前に登録されていたLog Function項目で曲を呼び出しても正常に再生されない場合があります。
- 選択中の音源と異なる音源のLog Function項目は呼び出せない場合があります。

## Log Function項目をロックする

登録されたLog Function項目が消えないようにロックします。

- 1 **LOG** を押す  
Log Functionリストが表示されます。
- 2 ロックする項目を選択し、ボリュームノブを1秒以上押す  
ロックされた項目には  表示がされます。  
もう一度同じ操作をすると、ロックが解除します。
- 3  を1秒以上押して終了する

## Log Function項目を削除する

登録されたLog Function項目を削除します。

- 1 ボリュームノブを押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **Log** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **Log Delete** を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 削除したい項目を選択し、ボリュームノブを押す

### MEMO

・リストで **All** を選択すると、ロックされていない項目をすべて削除します。

- 6 **YES** を選択し、ボリュームノブを押す  
“Completed” と表示され、選択した項目が削除されます。
- 7  を1秒以上押して終了する

## Log Functionカテゴリを設定する

Log Functionを自動的に登録するカテゴリを設定します。

- 1 ボリュームノブを押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **Log** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **Log Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 登録したいカテゴリを選択し、ボリュームノブを押す

表示	カテゴリ
Tuner Log	ラジオ放送関連
Data CD Log	CDオーディオファイル関連
iPod Log	iPod関連
USB Log	USB関連
Phone Log※	ハンズフリー関連
Function Log	設定項目関連

※別売品の「KCA-BT200/BT300」が必要です。

- 6  を1秒以上押しして終了する

## チューナー Log時間の変更

放送局をLogさせるタイミングを、受信時間で設定します。

- 1 ボリュームノブを押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **Log** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **Tuner Log Time Set** を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 登録させたい受信時間を選択し、ボリュームノブを押す

表示	設定時間
10SEC	10秒
30SEC	30秒
1 MIN	1分
2MIN	2分
5MIN	5分

- 6  を1秒以上押しして終了する

# Bluetoothオーディオの操作をする (DPX-U700のみ)

## 『KCA-BT200/BT300』で使えるBluetoothオーディオ機器

別売品の「KCA-BT200/BT300」で使用できるBluetoothオーディオ機器の仕様は以下のとおりです。

対応バージョン	KCA-BT200 : Bluetooth標準規格Ver. 1.2 準拠 KCA-BT300 : Bluetooth標準規格Ver. 2.1+EDR 準拠
対応プロファイル	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

### MEMO

- A2DPはオーディオ機器の音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCPはオーディオ機器の再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。

## 使用を始める前に

Bluetoothオーディオを使用するには、あらかじめ本機に登録しておく必要があります。詳しくは「Bluetooth機器を登録する」(P.43)をご覧ください。

複数のBluetoothオーディオ機器を登録している場合は、使用するBluetoothオーディオ機器を選択する必要があります。詳しくは「接続するBluetooth機器を選択する」(P.70)をご覧ください。

音源をBluetoothオーディオに切り替えるには、音源表示で **BT AUDIO EXT** を選択します。(P.16)

### MEMO

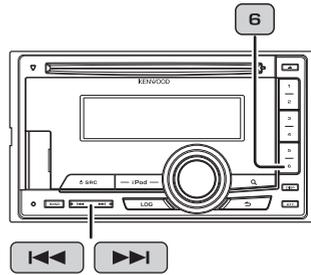
- リモートコントロール (AVRCP) に対応していないBluetoothオーディオ機器は操作できません。オーディオ機器側で操作してください。
- 電源を切るなどBluetooth接続が切れたあと、リモートコントロールできない、または再接続できないオーディオ機器があります。オーディオ機器側でBluetooth接続の操作を行ってください。
- 「**お好みの音質に設定しよう(オーディオコントロール)(DPX-U700)**」(P.58)の“2Zone”が“ON”および“2Zone Select”が“Front”に設定されている場合は、Bluetoothオーディオを選択できません。



## Bluetoothオーディオ再生中に使うボタン

再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

- 一時停止する→  を押す
- 一時停止から再生する→  を押す
- 曲の先頭に戻る→  を押す
- 次の曲を聴く→  を押す
- 前の曲を聴く→  を2回押す





# ハンズフリー通話の操作をする (DPX-U700のみ)

## 『KCA-BT200/BT300』で使える携帯電話

別売品の「KCA-BT200/BT300」で使用できるBluetooth対応携帯電話の様子は以下のとおりです。

対応バージョン	KCA-BT200 : Bluetooth標準規格Ver. 1.2 準拠 KCA-BT300 : Bluetooth標準規格Ver. 2.1+EDR 準拠
対応プロファイル	HFP (Hands Free Profile) OPP (Object Push Profile) PBAP (Phonebook Access Profile) SYNC (Synchronization Profile)

互換性を確認した携帯電話機については、下記URLをご覧ください。

<http://www.kenwood.com/cs/ce/bt/>

### MEMO

- Bluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。
- HFPはハンズフリー通話をかけるためのプロファイルです。
- OPPは機器間で電話帳などのデータを転送するためのプロファイルです。

## 使用を始める前に

Bluetooth対応携帯電話を使用して本機でハンズフリー操作を行うには、あらかじめ本機に携帯電話を登録しておく必要があります。詳しくは「**Bluetooth機器を登録する**」(P.43)をご覧ください。

複数のBluetooth対応携帯電話を登録している場合は、使用する携帯電話を選択する必要があります。詳しくは「**接続するBluetooth機器を選択する**」(P.70)をご覧ください。

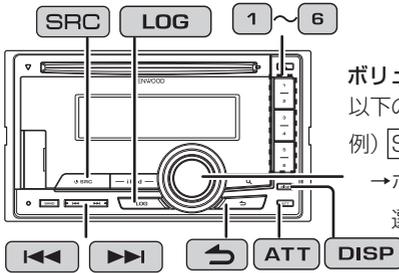
電話帳を利用するには、あらかじめ本機に電話帳をダウンロードする必要があります。詳しくは「**電話帳をダウンロードする**」(P.45)をご覧ください。

### MEMO

- 通話中にCDを挿入する、USBを接続するなど音源を切り替えると通話が切れます。



## Bluetooth機器を登録する



### ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) **Settings** を選択する

→ボリュームノブを回して**Settings**を選択し、ボリュームノブを押して決定する。

### 本機から登録する (ペアリング)

ここでは、本機から操作してBluetooth機器を登録する方法を説明します。

- 1 **LOG** を1秒以上押す
- 2 **Settings** を選択する
- 3 **PAIRING** を選択する
- 4 **Device Registration** を選択する  
Bluetooth機器の検索が始まります。検索が終了すると、ディスプレイに“Finished”と表示されます。
- 5 リストからBluetooth機器を選択する  
KCA-BT300を接続している場合、“Pairing Success”と表示されたときは手順8に、“Pin Code NG”と表示されたときは手順6に進んでください。
- 6 PINコードを入力する

動作	操作
数字を選択する	ボリュームノブを回す。
次の桁に移動する	<b>▶▶</b> を押す。
最後の桁を削除する	<b>◀◀</b> を押す。

- 7 ボリュームノブを1秒以上押して、PINコードを送信する  
“Pairing Success”が表示されたら登録完了です。
- 8 **↶** を押す  
機器リスト画面に戻ります。
- 9 **LOG** を1秒以上押して終了する

### MEMO

- 本機から登録できない場合は、Bluetooth機器側から登録してください。詳しくは「携帯電話から登録する(ペアリング)」(P.44)をご覧ください。
- 本機で入力できるPINコードは8桁までの数字です。本機で入力できないPINコードの場合は、Bluetooth機器側から登録してください。
- 登録済みのBluetooth機器が5台ある場合は、新たに登録することができません。不要な登録を削除してください。
- PINコードが正しいのにエラー表示が出て登録できない場合は、「特殊なBluetooth機器を登録する」(P.72)の登録を試してください。

## 携帯電話から登録する (ペアリング)

ここでは、携帯電話から操作して本機に登録する方法を説明します。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 携帯電話を操作して機器登録を行う  
検索した接続機器の中から“KCA-BT200”/“KCA-BT300”を選択します。  
携帯電話の操作方法については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください

## 携帯電話を利用する

### 電話をかける

- 1 **LOG** を1秒以上押す  
発信モードになります。
- 2 発信方法を選択する

表示	発信方法
Phonebook	電話帳を名前順に探して電話をかけます。 (P.45)
Incoming Calls	着信履歴から電話をかけます。(P.46)
Outgoing Calls	発信履歴から電話をかけます。(P.46)
Missed Calls	不在着信履歴から電話をかけます。(P.46)
Number Dial	電話番号を入力して電話をかけます。 (P.44)

以降の操作は、各モードの説明ページ

さい。

- 3 PINコードを入力する  
「PINコードを登録する」(P.73)で登録したPINコードを入力します。

#### MEMO

- 初期設定は“0000”です。

- 4 携帯電話を操作して接続を開始する

#### MEMO

- 携帯電話から登録できない場合は、「特殊なBluetooth機器を登録する」(P.72)を参照して登録してください。

をご覧ください。

#### ♪ こんなときは…

- 発信方法選択を中止する  
→ **LOG** を1秒以上押す

### 電話番号を入力して電話をかける

- 1 **LOG** を1秒以上押す  
発信モードになります。
- 2 **Number Dial** を選択する
- 3 電話番号を入力する

動作	操作
数字を選択する	ボリュームノブを回す
数字を決定する	ボリュームノブを押す
最後の桁を消去する	<b>◀◀</b> を押す



## 4 ボリュームノブを押す 電話を発信します。

### MEMO

- 入力できる電話番号は、32桁までです。

## 登録した番号に電話をかける

本機に電話番号を登録（プリセット）して、簡単に電話をかけることができます。プリセット番号を使用するには、あらかじめ電話番号を登録する必要があります。

## プリセット番号を登録する

- 1 登録する電話番号を入力する  
入力方法について詳しくは「電話番号を入力して電話をかける」(P.44)、「電話帳から電話をかける」(P.46)、「履歴から電話をかける」(P.46)をご覧ください。
- 2 ①～⑥を2秒以上押す  
押したボタンに電話番号が登録されます。

## プリセット番号から電話をかける

- 1 LOG を1秒以上押す  
発信モードになります。
- 2 かけたい電話番号が登録されている①～⑥を押す
- 3 ボリュームノブを押す  
電話を発信します。

## 電話帳を利用する

電話帳に登録されている番号に電話をかけます。電話帳を利用するには、あらかじめ携帯電話から電話帳をダウンロードする必要があります。

## 電話帳をダウンロードする

携帯電話に登録されている電話帳のデータを、本機にダウンロードして本機の電話帳として利用できるようにします。

### ●自動でダウンロードする場合

携帯電話が電話帳のシンクロ機能に対応している場合、Bluetooth対応携帯電話を接続すると自動でダウンロードします。

### MEMO

- 携帯電話側の設定が必要な場合があります。
- “Completed”と表示されても電話帳にデータがない場合、お使いの携帯電話は自動ダウンロードに対応していません。手動でダウンロードしてください。

### ●携帯電話から手動でダウンロードする場合

- 1 携帯電話を操作してハンズフリー接続を終了する
- 2 携帯電話を操作して電話帳を送信する  
ダウンロード中は“Downloading”/“Download..”と表示されます。“Completed”が表示されたらダウンロード完了です。
- 3 携帯電話を操作してハンズフリー接続を開始する

- ダウンロード完了表示を消すには  
何か操作を行うと表示が消えます。

### MEMO

- 本機は機器登録した携帯電話ごとに1000件まで電話番号を登録できます。  
▶次ページへつづく



## ハンズフリー通話の操作をする

- 1件に登録できるのは、電話番号が32桁、名前が50文字までです。(文字数は1バイトの場合です。文字種により少なくなります。)
- 電話帳のダウンロードを途中で中止するには、携帯電話側で中止してください。

### 電話帳から電話をかける

- 1 **LOG** を1秒以上押す  
発信モードになります。
- 2 **Phonebook** を選択する
- 3 フリガナを選択する

動作	操作
頭文字を選択する	ボリュームノブを回す
頭文字を決定する	ボリュームノブを押す

- 4 名前を選択する

動作	操作
次の電話番号に移動する	ボリュームノブを回す
次の名前に移動する	<b>▶▶</b> または <b>◀◀</b> を押す

#### MEMO

- **DISP** を押すごとに、名前（電話番号）と詳細情報を切り替えます。

- 5 ボリュームノブを押す  
電話を発信します。

#### MEMO

- フリガナ検索は、携帯電話の電話帳に登録されているフリガナを利用しています。フリガナが登録されてないと検索できません。

### 履歴から電話をかける

- 1 **LOG** を1秒以上押す  
発信モードになります。
- 2 **Incoming Calls** (着信履歴)、**Outgoing Calls** (発信履歴) または **Missed Calls** (不在着信履歴) を選択する
- 3 名前または電話番号を選択する

#### MEMO

- **DISP** を押すごとに、名前（電話番号）と詳細情報を切り替えます。

- 4 ボリュームノブを押す  
電話を発信します。

#### MEMO

- 発信履歴、着信履歴、および不在着信履歴は、本機で発信および着信した履歴です。携帯電話内の履歴ではありません。



## 音声で電話をかける

- 1 **ATT** を1秒以上押す  
音声認識モードになり、“PB Name ?”と表示されます。
- 2 ビープ音が聞こえたら2秒以内に名前を発声する  
“PN Type ?”と表示されます。
- 3 ビープ音が聞こえたら2秒以内にカテゴリ（種類）を発声する  
電話番号が表示されます。
- 4 ボリュームノブを押す  
電話を発信します。  
電話番号を変える場合は、「電話帳から電話をかける」(P.46)の手順4の操作を行います。

### MEMO

- 音声認識されないときはメッセージが表示されます。メッセージの表示後にボリュームノブを押すと再度音声入力ができます。(P.79)
- 音声認識を行うには、あらかじめ名前とカテゴリにボイスタグを登録する必要があります。詳しくは「電話帳にボイスタグを設定する」(P.71)と「カテゴリのボイスタグを設定する」(P.72)をご覧ください。
- 電話帳にカテゴリが登録されていない、またはカテゴリのボイスタグが登録されていないと手順3の操作がなくなります。
- 音声認識を行っている間は、オーディオの音声は出力されません。

## 電話帳のカテゴリ表示について

電話帳の検索など電話番号のカテゴリを次のように表示します。

表示	情報
	一般
	自宅
	会社
	携帯電話
	その他

## 電話を受ける

- 1 ボリュームノブを押す  
電話を受信します。

### MEMO

- USBを接続するなど、音源を切り替えると通話が切断されます。
- 電話帳に名前が登録されている場合、電話をかけた人の名前がディスプレイに表示されます。

### ♪ こんなときは…

- 着信を拒否する  
→ **SRC** を押す。

## 通話を終了する

- 1 **SRC** を押す



## ハンズフリー通話の操作をする

### ショートメッセージサービス (SMS) を利用する

新着メッセージが届いたときはメッセージが表示されます。



- 走行中の運転者は、ショートメッセージを読まないでください。  
事故の原因となります。

### 新着メッセージが届くと

“SMS Received” と表示されます。  
何か操作を行うと表示が消えます。

### ショートメッセージを表示する

- 1 **LOG** を1秒以上押す  
発信モードになります。
- 2 **SMS Inbox** を選択する  
メッセージリストが表示されます。
- 3 リストからメッセージを選択する  
メッセージが表示されます。

### MEMO

- **DISP** を押すごとに、名前（電話番号）と詳細情報を切り替えます。
- ボリュームノブを回すと、メッセージがスクロールします。
- ボリュームノブを再度押すと、メッセージリストに戻ります。

- 4 **↩** を押す  
SMS受信モードを終了します。
- 5 **LOG** を1秒以上押して終了する

### MEMO

- 未開封メッセージがリストの先頭に表示されます。その他は受信日順になります。
- 携帯電話と接続していないときに届いたショートメッセージは表示できません。はじめにショートメッセージのダウンロードを行ってください。
- ショートメッセージのダウンロードを行っている最中は、ショートメッセージを表示できません。



## いろいろな操作

	動作	操作
通話中	通話中の音量を調整する <sup>※1</sup>	ボリュームノブを回す
	プライベート通話に切り替える <sup>※2</sup>	<b>6</b> を押す
割り込み通話	今の通話を保留にして、かかってきた電話に出る	ボリュームノブを押し、 <b>ANSWER</b> を選択する
	今の通話を終了して、かかってきた電話に出る	<b>SRC</b> を押す
	今の通話を続ける（かかってきた電話を拒否する）	ボリュームノブを押し、 <b>REJECT</b> を選択する
	今の通話を終了して、保留中の電話に出る	<b>SRC</b> を押す
	保留中の通話に切り替える <sup>※3</sup>	ボリュームノブを押す
その他	未接続表示（“HF Disconnect”/ “HF D-CON”）を解除する	<b>LOG</b> を1秒以上押す

- ※1 ここで受話音量を調整すると、次回の通話でも同じ音量になります。  
受話音量を大きくすると、エコーが発生しやすくなります。エコーは受話音量に比例して大きくなるので、エコーが発生したときは音量をなるべく小さくしてください。
- ※2 **6** を押すごとに、プライベート通話（携帯電話での操作）と本機でのハンズフリー操作が切り替わります。携帯電話によってはプライベート通話に切り替えるとハンズフリー接続の前に聞いていた音源に戻ることがあります。その場合は、本機ではハンズフリー通話に戻すことができません。携帯電話側を操作してハンズフリー通話に切り替えてください。
- ※3 ボリュームノブを押すごとに、現在の電話と保留中の電話が切り替わります。

# 本機の設定をする

## ディスプレイの表示を設定しよう

ディスプレイの表示や色に関する設定を行います。操作方法は、「Function設定を操作しよう」(P.17) を参照してください。

- 1 ボリュームノブを押す
  - 2 **Settings** / **SETTINGS** を選択する
  - 3 **Display & Illumination** / **DISP & ILLUMI** を選択する
- 各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。  
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

### DPX-U700

表示	設定内容	設定値
Display Select	表示タイプを切り替えます。(P.53) Type Select : ディスプレイ全体の表示タイプを切り替えます。 Side Select : ディスプレイ左側の表示タイプを切り替えます。 Text Select : ディスプレイに表示されるテキスト(アーティスト名や曲名、時計表示など)の項目を切り替えます。 Graphic Select : スペアナ表示に設定しているときのディスプレイ全体の表示タイプを切り替えます。 Clock Select : 時計表示を1か所または2か所に切り替えます。 Status : 各種機能のステータス表示の有無を設定します。	Type Select/ Side Select/ Text Select/ Graphic Select/ Clock Select/ Status
Color Select	ボタンとディスプレイのイルミネーション色を設定します。(P.55) 色をお好みで調整することもできます。(P.56) All : ボタンとディスプレイの両方のイルミネーション色を設定します。 Display : ディスプレイのイルミネーション色を設定します。 Key : ボタンのイルミネーション色を設定します。 Knob : ボリュームノブのイルミネーション色を設定します。	All/Display/ Key/Knob
DISP & ILLUMI OFF	<b>「全体の表示タイプを切り替える(DPX-U700)」(P.53)</b> で表示OFFタイプを選択時に、ディスプレイとボタンのイルミネーションの設定をします。 DISP&ILLUMI : ボタンとディスプレイの両方のイルミネーションが消えます。 DISP : ディスプレイのイルミネーションだけが消えます。	DISP&ILLUMI/ <b>DISP</b>



表示	設定内容	設定値
Display Dimmer	ディスプレイの明るさを切り替えます。 Auto： 車両のライトスイッチに連動して減光します。 Manual1： 常時減光します。 Manual2： Manual1よりもさらに減光します。 OFF： 減光しません。	Auto/Manual1 / Manual2/OFF
Contrast	ディスプレイのコントラストを調整します。 取り付け位置によってはディスプレイの文字が見えにくい場合があります。このようなときに調整してください。	1 ~ 5 ~ 12
DISP N/P	ディスプレイの表示タイプをネガとポジとに切り替えます。 また、ライトスイッチに連動して反転することも可能です。 POS1： 文字をポジタイプで表示します。 POS2： 車両のライトスイッチがOFFのときは、文字をポジタイプで表示し、ONにするとネガタイプで表示します。 NEGA1： 文字をネガタイプで表示します。 NEGA2： 車両のライトスイッチがOFFのときは、文字をネガタイプで表示し、ONにするとポジタイプで表示します。	POS1/POS2/ NEGA1/NEGA2
Text Scroll	ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダ名、ファイル名、曲タイトル/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。 Auto： スクロールを繰り返します。 Once： 1回スクロールします。 OFF： スクロールしません。	Auto/Once/OFF
BT DVC STATUS*	Bluetooth機器の接続状態や携帯電話の電波状態、電池の残量を表示します。	—
ILLUMI Dimmer	ボタンのイルミネーションの輝度を下げます。 Auto： 車両のライトスイッチに連動して減光します。 Manual1： 常時減光します。 Manual2： Manual1よりもさらに減光します。 OFF： 減光しません。	Auto/Manual1 / Manual2/OFF
ILLUMI Effect	本機の操作に連動してボタンのイルミネーションの輝度を変える演出効果を設定します。 OFF： 演出効果がありません。 ON： 本機を操作することにより、輝度変化します。	ON/OFF
ILLUMI MSC SYNC	音量に連動してイルミネーションの色を変える演出効果を設定します。 OFF： 演出効果がありません。 ON： 音量により色変化します。	ON/OFF

\* 別売品の「KCA-BT200/BT300」接続時に表示されます。

▶次ページへつづく

## 本機の設定をする

### DPX-U500

表示	設定内容	設定値
COLOR SELECT	ボタンとディスプレイのイルミネーション色を設定します。(P.55) 色をお好みで調整することもできます。(P.56) ALL： ボタンとディスプレイの両方のイルミネーション色を設定します。 DISPLAY：ディスプレイのイルミネーション色を設定します。 KEY： ボタンのイルミネーション色を設定します。	ALL/DISPLAY/ KEY
TEXT SCROLL	ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダ名、ファイル名、曲タイトル/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。 AUTO：スクロールを繰り返します。 ONCE：1回スクロールします。 OFF：スクロールしません。	AUTO/ONCE/OFF
DISP OFF MODE	「ディスプレイの表示を切り替える(DPX-U500)」(P.55)でDISP OFF MODEを選択時の時計とボタンのイルミネーションの設定をします。	—
CLOCK	OFF：時計も消灯します。 ON：時計は表示されます。	ON/OFF
KEY ILLUMI	OFF：ボタンのイルミネーションも消灯します。 ON：ボタンのイルミネーションは点灯します。	ON/OFF
DISP DIMMER	ディスプレイの明るさを切り替えます。 AUTO：車両のライトスイッチに連動して減光します。 MANUAL1：常時減光します。 MANUAL2：Manual1よりもさらに減光します。 OFF：減光しません。	AUTO/MANUAL1/ MANUAL2/OFF
ILLUMI DIMMER	ボタンのイルミネーションの輝度を下げます。 AUTO：車両のライトスイッチに連動して減光します。 MANUAL1：常時減光します。 MANUAL2：Manual1よりもさらに減光します。 OFF：減光しません。	AUTO/MANUAL1/ MANUAL2/OFF

#### 4 設定項目を選択する

#### 5 設定値を選択する

#### MEMO

・さらに詳細な設定が必要な項目は、各説明ページをご覧ください。

#### 6 を1秒以上押して終了する

## 全体の表示タイプを切り替える (DPX-U700)

ディスプレイ全体の表示タイプを切り替えます。

- 1 **DISP** を押す  
以下のようにディスプレイの表示が切り替わります。

表示タイプ	表示内容
2行テキスト表示	ラジオの周波数、CDやオーディオの再生時間、iPodのタイトル/アーティスト名などの情報を表示します。
時計表示	時計を表示します。
スペアナ表示	スペアナを表示します。
表示OFF	ディスプレイの表示を消します。

### MEMO

- Function設定の“Settings” → “Display & Illumination” → “Display Select”でも設定ができます。(P.50)

## 左側の表示タイプを切り替える (DPX-U700)

ディスプレイ左側の表示タイプを切り替えます。

### MEMO

- この操作は、ディスプレイ全体の表示タイプが「2行テキスト表示」の場合のみ設定できます。

- 1 **Display & Illumination**設定画面を表示する

設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.50)をご覧ください。

- 2 **Display Select** を選択する

- 3 **Side Select** を選択する

ボリュームノブを回すとディスプレイの左側が「項目名」→「アイコン表示」→「表示なし」の順で切り替わります。

- 4 **↵** を1秒以上押しして終了する

## 項目名の表示を切り替える (DPX-U700)

ディスプレイに表示されるテキスト（アーティスト名や曲名、時計表示など）の項目を切り替えます。

- 1 **Display & Illumination**設定画面を表示する

設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.50)をご覧ください。

- 2 **Display Select** を選択する

- 3 **Text Select** を選択する

- 4 表示するテキストを選択する

**▶▶** または **◀◀** を押すと表示する項目を変更できます。ボリュームノブを回すと変更する行が移動します。

- 5 **↵** を1秒以上押しして終了する

### MEMO

- “Display OFF” を選択すると、ディスプレイが消灯します。また、このモードを選択するとすべての音源でディスプレイが消灯します。
- 選択している音源によって、表示できる項目は異なります。
- 選択した情報がない場合は、代替の情報が表示されます。
- iPodの再生中にフォルダ名表示を選択すると、現在選択中のリスト項目に沿った名称が表示されます。

▶次ページへつづく

## 本機の設定をする

- iPodの場合、すべての文字が表示できないとき、選択したリストのファイル番号が表示されます。

表示	項目
"TITLE***"	曲名
"FLD***"	フォルダ名
"FILE***"	ファイル名

### スペアナの表示タイプを切り替える (DPX-U700)

スペアナ表示に設定しているときのディスプレイ全体の表示タイプを切り替えます。

- 1 **Display & Illumination設定画面を表示する**  
設定画面の表示方法は、「**ディスプレイの表示を設定しよう**」(P.50)をご覧ください。
- 2 **Display Select** を選択する
- 3 **Graphic Select** を選択する  
ボリュームノブを回すと、ディスプレイの表示が切り替わります。
- 4 **↩** を1秒以上押しして終了する

### 時計表示を切り替える (DPX-U700)

時計表示を1か所または2か所にする設定をします。

#### MEMO

- この操作は、ディスプレイ全体の表示タイプが「時計表示」の場合のみ設定できません。

- 1 **Display & Illumination設定画面を表示する**  
設定画面の表示方法は、「**ディスプレイの表示を設定しよう**」(P.50)をご覧ください。

ください。

- 2 **Display Select** を選択する

- 3 **Clock Select** を選択する  
ボリュームノブを回すと、1か所("Home")または2か所("Home & Sub")に切り替わります。

- 4 **↩** を1秒以上押しして終了する

### ステータス表示を切り替える (DPX-U700)

2行表示に設定している場合に、1行目に表示される各種機能のステータス表示の有無を設定します。

#### MEMO

- この操作は、ディスプレイ全体の表示タイプが「2行テキスト表示」の場合のみ設定できます。

- 1 **Display & Illumination設定画面を表示する**  
設定画面の表示方法は、「**ディスプレイの表示を設定しよう**」(P.50)をご覧ください。
- 2 **Display Select** を選択する
- 3 **Status** を選択する  
ボリュームノブを回すと、ステータス表示の有無が切り替わります。
- 4 **↩** を1秒以上押しして終了する



## ディスプレイの表示を切り替える (DPX-U500)

ディスプレイの表示タイプを切り替えます。

**1** **DISP** を押す

### MEMO

- “DISP OFF MODE” を選択すると、ディスプレイが消灯します。また、このモードを選択するとすべての音源でディスプレイが消灯します。
- 選択している音源によって、表示できる項目は異なります。
- 選択した情報がない場合は、代替の情報が表示されます。
- iPodの再生中にフォルダ名表示を選択すると、現在選択中のリスト項目に沿った名称が表示されます。
- iPodの場合、すべての文字が表示できないとき、選択したリストのファイル番号が表示されます。

表示	項目
"TITLE***"	曲名
"FLD***"	フォルダ名
"FILE***"	ファイル名

## イルミネーション色を設定する

ボタンとディスプレイのイルミネーション色を設定します。

- 1** Display & Illumination/DISP & ILLUMI設定画面を表示する  
設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.50)をご覧ください。
- 2** **Color Select** / **COLOR SELECT** を選択する
- 3** 色を設定したい項目を選択する  
各項目の操作対象は以下のとおりです。

表示	設定内容
All/ALL	ボタンおよびディスプレイを同じ色に設定します。
Display/DISPLAY	ディスプレイの色を設定します。
Key/KEY	ボタンの色を設定します。
Knob (DPX-U700のみ)	ボリュームノブの色を設定します。

- 4** ボリュームノブを回して設定する色を選択する

“Color1”/“COLOR1” ~ “Color24”/“COLOR24”、“Variable Scan”/“VARIABLE SCAN”、または “User”/“USER” から選択します。

### MEMO

- “Variable Scan”/“VARIABLE SCAN” は基本色が順番に切り替わります。
- “User”/“USER” には、お好みで調整した色を登録することができます。(P.56)

- 5** **↵** を1秒以上押して終了する

### イルミネーション色を調整する

ボタンとディスプレイのイルミネーション色をお好みに調整します。

- 1 Display & Illumination/DISP & ILLUMI設定画面を表示する  
設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.50)をご覧ください。

- 2 **Color Select** / **COLOR SELECT**を選択する

- 3 色を調整したい項目を選択する  
各項目の操作対象は以下のとおりです。

表示	調整内容
All/ALL	ボタンおよびディスプレイを同じ色に調整します。
Display/DIAPLAY	ディスプレイの色を調整します。
Key/KEY	ボタンの色を調整します。
Knob (DPX-U700のみ)	ボリュームノブの色を調整します。

- 4 ボリュームノブを1秒以上押す  
R (赤) G (緑) B (青) 調整画面が表示されます。

#### MEMO

- “Variable Scan” / “VARIABLE SCAN” を選択しているときは、色の調整ができません。

- 5 ボリュームノブを回して調整値を選択する

、 で調整する色 (RGB) を移動します。

#### MEMO

- 調整した値は、設定値の “User” / “USER”

に登録されます。

- 6  を1秒以上押しして終了する



# 日付と時計表示を設定しよう (DPX-U700)

## 日付を調整する

日付を調整します。

- 1 ボリュームノブを押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **Clock & Date** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **Date Adjust** を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 年を調整し、ボリュームノブを押す
- 6 月を調整し、ボリュームノブを押す
- 7 日を調整し、ボリュームノブを押す
- 8 **↩** を1秒以上押して終了する

## 時計を表示する2か所の都市を設定する

時計表示を“HOME&SUB”にしているときに2か所の場所を設定します。

- 1 ボリュームノブを押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **Clock & Date** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **City Select** を選択し、ボリュームノブを押す

## 5 時計を表示させる都市を設定する

動作	操作
設定する時計表示部 (Home/Sub) を選択する	ボリュームノブを回す。
都市を選択する	<b>◀▶</b> を押す。

## 6 **↩** を1秒以上押して終了する

### MEMO

- ・2か所の時計を表示させる設定については、「時計表示を切り替える (DPX-U700)」(P.54)を参照してください。
- ・上 (Home) に表示されている時計の調整は、「時計を調整しよう」(P.8)で設定した時刻が表示されます。  
下 (Sub) に表示される時計の時刻は、設定した都市から自動的に計算されます。

## Sub時計の調整

Subのサマータイムの実施制度がHomeと異なる場合の時計調整をします。

- 1 ボリュームノブを押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **Clock & Date** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **Sub Clock Adjust** を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 Home都市との時差 (-1h, +1h) を選択し、ボリュームノブを押す
- 6 **↩** を1秒以上押して終了する

本機の設定をする

# 好みの音質に設定しよう（オーディオコントロール）（DPX-U700）

音響効果などを設定します。操作方法は、「Function設定を操作しよう」(P.17)を参照してください。

**1** いずれかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す

**2** **Audio Control** を選択する

オーディオ設定画面が表示されます。

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。

太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示		設定内容	設定値
Subwoofer Level <sup>*8</sup>		サブウーファアの音量を調整します。	-15 ~ <b>0</b> ~ +15
DSP Set		DSP機能のON/OFFを設定します。 Bypass : DSP機能が停止します。 Through : DSP機能を使用します。	Bypass/ <b>Through</b>
Equalizer	Preset Equalizer	ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。 イコライザーカーブは音源ごとに設定できます。	Natural/ <b>User</b> / Rock/Pops/Easy/ Top40/Jazz/ Game/iPod (iPod 接続時のみ) <sup>*10</sup>
	Manual Equalizer	音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調整できます。 <b>(P.61)</b>	—
Bass Boost		低音を増強します。	<b>OFF</b> /Step1/ Step2
HIGHWAY-SOUND		ロードノイズによってかき消される小さな音を大きくして、聞き取りやすくすると共に、消されがちな低音の強調をすることで、ロードノイズに負けない音にします。 音源をラジオに設定している場合は調整できません。	OFF/Step1/ Step2/ <b>Step3</b>
Supreme <sup>*9</sup>		Supreme機能のON/OFFを設定します。	<b>ON</b> /OFF
Position	Preset Position	聴く位置に合わせてプリセットポジションの設定をします。音像定位が補正されます。	<b>All</b> /Front-Right/ Front-Left/Front
	DTA <sup>*1</sup>	“Front”、“Rear”、“Subwoofer”のポジションをそれぞれ設定します。「Preset Position」で設定した値をスピーカーごとに微調整します。 Initialise : 選択してボリュームノブを1秒以上押し、設定値を初期状態に戻します。	L : <b>0</b> ~ 170 cm R : <b>0</b> ~ 170 cm
Balance		左右の音量バランスを調整します。	L15 ~ <b>0</b> ~ R15
Fader		前後の音量バランスを調整します。	F15 ~ <b>0</b> ~ R15
2Zone Rear Volume <sup>*2</sup>		デュアルゾーン機能使用時のリアスピーカーの音量を調整します。	0 ~ <b>15</b> ~ 35
Subwoofer <sup>*8</sup>		サブウーファー出力のON/OFFを設定します。	<b>ON</b> /OFF



表示		設定内容		設定値
Detailed Setup	Car Type	車種を選択することで簡単にタイムアライメントを設定し、スピーカー間の距離差を補正します。		OFF/Compact/Sedan/Wagon/Minivan/SUV/One Box
	Speaker Setting	Front	フロントスピーカーのサイズや取り付け位置を設定します。 また、ツイーターの有無を設定します。 None：ツイーターがない場合の設定です。	SIZE： 4×6/5×7/6×8 /6×9/7×10/ O.E.M/10cm/ 13cm/16cm/ 17cm/18cm LOCATION： Door/OnDash/ UnderDash TWEETER： None/Use
		Rear	リアスピーカーのサイズや取り付け位置を設定します。 None：スピーカーがない場合の設定です。 O.E.M：車両標準で付いている再生帯域の狭いスピーカーの設定です。	SIZE： 4×6/5×7/6×8 /6×9/7×10/ None/O.E.M/ 10cm/13cm/ 16cm/17cm/ 18cm LOCATION： Door* <sup>3</sup> / Rear Deck* <sup>3</sup> / 2nd Seat* <sup>4</sup> / 3rd Seat* <sup>4</sup>
		SubWoofer* <sup>8</sup>	サブウーファースのサイズを設定します。 None：スピーカーがない場合の設定です。	SIZE： 16cm/20cm/ 25cm/30cm/ 38cmOver/None
Car Type Adjust	「Car Type」で設定したスピーカー間の距離差を、使用する車両により合うように微調整します。(P.61) この機能は、「Preset Position」と合わせて使用します。		—	
X' Over	各スピーカーの補正をします。(P.62)		—	
NAV Guide* <sup>5</sup>	カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定します。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。 ATT：ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。 INT：ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力します。		OFF/ATT/INT	
NAV Volume* <sup>6</sup>	ナビ音声ガイド時の音量を設定します。		0～15～25	

▶次ページへつづく

## 本機の設定をする

	表示	設定内容	設定値
Detailed Setup	Volume Offset	音源ごとの音量差を調整します。音源を切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。	-8 ~ 0 (AUXの場合：-8 ~ 0 ~ +8)
	2Zone <sup>*7</sup>	デュアルゾーン機能のON/OFFを設定します。	ON/OFF
	2Zone Select <sup>*2</sup>	「2Zone」をONに設定しているときの内部AUX入力音声(サブ音源)の出力先(フロント/リア)を設定します。	Front/Rear
	Preset	DSP設定の登録および呼び出しを行います。1 ~ 6のメモリー番号に登録できます。(P.63) Memory : 登録 Recall : 呼び出し	-

- ※1 サブウーファー左側とサブウーファー右側を1つのサブウーファーで使用する場合は、左右を同じ値に設定してください。
- ※2 「Detailed Setup」の「2Zone」をONに設定しているときに表示されます。
- ※3 「Car Type」の設定が、「Minivan」または「OneBox」以外の場合に設定できます。
- ※4 「Car Type」の設定が、「Minivan」または「OneBox」の場合に設定できません。
- ※5 この機能を「INT」に設定して、ナビ音声ガイドの割り込みをする場合は、AUX入力にナビゲーションシステムを接続してください。また、ナビ音声ガイドが割り込んだときに、ナビゲーションシステムでKSF(別売品のHDX-710などの音楽ファイル)を再生していると、ナビゲーションによってはKSFの音声がナビ音声ガイドと一緒に聞こえる場合があります。
- ※6 「Detailed Setup」の「NAV Guide」が「INT」に設定されているときに表示されます。
- ※7 この機能が「ON」のときは、「Balance」、「2Zone Rear Volume」、「NAV Guide」、「NAV Volume」、「Volume Offset」、「2Zone Select」のみ設定できます。
- ※8 「Switchable Preout」(P.75)を「SubWoofer」に設定しているときに表示されます。
- ※9 CD/USBのオーディオファイルを再生中に表示されます。
- ※10 「iPod」を選択すると、さらに22種のiPod用イコライザーカーブから選択できます。

### MEMO

- Supreme (サブリーム) 機能とは、エンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です。さらに、エンコード時に欠落した低音とボーカルの音声成分をも補完することで自然な音質を再現します。補完は圧縮フォーマット(AAC、MP3、またはWMA)別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。なお、オーディオファイルのフォーマットやエンコード時の設定の関係によっては、効果がわかりにくい場合があります。また、音楽CDおよびiPodの音に対しても低音とボーカルの音声成分の補完を行います。
- 2Zone (デュアルゾーン) 機能とは、メイン音源とサブ音源(AUX入力)をフロントスピーカーとリアスピーカーに振り分けて出力する機能です。
- 本機とケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続して使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオン、または「オーディオ接続設定」機能を設定してください。なお、「NAV Guide」機能はケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

### 3 設定項目を選択する

#### MEMO

- さらに詳細な設定が必要な項目は、各説明ページをご覧ください。

### 4 ボリュームノブ (または ) で設定値を選択する

### 5 を1秒以上押して終了する

## イコライザーカーブを調整する

音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調整できます。

- 1 オーディオ設定画面を表示する  
設定画面の表示方法は、「**お好みの音質に設定しよう (オーディオコントロール) (DPX-U700)**」(P.58)をご覧ください。
- 2 **Equalizer** を選択する
- 3 **Manual Equalizer** を選択する
- 4 調整する項目を選択する  
▶▶ または ◀◀ を押して設定値を選択します。項目を移動するときはボリュームノブを回します。

バンド	設定値
BAND1 (62.5 Hz)	GAIN: -9 ~ +9 (+7) EFCT : ON/OFF
BAND2 (250Hz)	GAIN: -9 ~ +9 (-2)
BAND3 (1kHz)	GAIN : -9 ~ +9 (0)
BAND4 (4kHz)	GAIN: -9 ~ +9 (+4)
BAND5 (16kHz)	GAIN: -9 ~ +9 (+6)

### MEMO

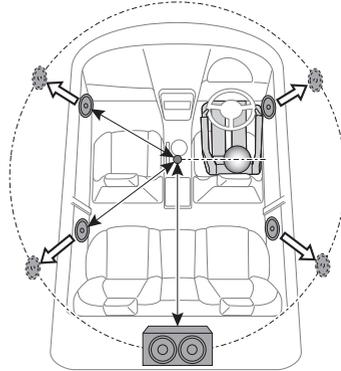
・太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

- 5 ◀ を1秒以上押して終了する

## タイムアライメントの設定

「Car Type」(P.58)で設定したスピーカー間の距離差を、使用する車両により合うように微調整します。

タイムアライメントの設定は、車両中心部からの各スピーカーの距離を指定することにより、自動的に割り出されて補正されます。



- (1) 前後と高さをフロントシートに座った人の耳の位置で、左右を車室内の中央に基準点を設定します。
- (2) 基準点からスピーカーまでの距離を測ります。
- (3) 一番遠いスピーカーの距離に合わせて距離の差を計算します。

- 1 オーディオ設定画面を表示する  
設定画面の表示方法は、「**お好みの音質に設定しよう (オーディオコントロール) (DPX-U700)**」(P.58)をご覧ください。
- 2 **Detailed Setup** を選択する
- 3 **Car Type Adjust** を選択する
- 4 調整する項目を選択する  
▶▶ または ◀◀ を押して設定値を選択します。項目を移動するときはボリュームノブを回します。

▶次ページへつづく

## 本機の設定をする

表示	項目	設定値
FRONT	フロントスピーカー	0 ~ 440cm
REAR	リアスピーカー	0 ~ 440cm
SW	サブウーファー	0 ~ 440cm

### MEMO

- 太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

**5**  を1秒以上押して終了する

## クロスオーバーの設定をする

各スピーカーの補正をします。

**1** オーディオ設定画面を表示する  
設定画面の表示方法は、「**お好みの音質に設定しよう (オーディオコントロール)(DPX-U700)**」(P.58)をご覧ください。

**2** **Detailed Setup** を選択する

**3** **X' Over** を選択する

**4** 調整する項目を選択する

表示		設定内容
Front	FC	ハイパスフィルター カットオフ周波数
	SLOPE	ハイパスフィルター スロープ
Rear	FC	ハイパスフィルター カットオフ周波数
	SLOPE	ハイパスフィルター スロープ

表示		設定内容
Subwoofer	FC	ローパスフィルター カットオフ周波数
	SLOPE	ローパスフィルター スロープ
	PHASE	ローパスフィルター の位相

 または  を押して設定値を選択します。項目を移動するときにはボリュームノブを回します。

設定内容	設定値
FC (ハイパスフィルター カットオフ周波数)	<b>Through</b> /30Hz/40Hz/ 50Hz/60Hz/70Hz/80Hz /90Hz/100Hz/120Hz/ 150Hz/180Hz/220Hz/ 250Hz
FC (ローパスフィルター カットオフ周波数)	30Hz/40Hz/50Hz/ 60Hz/70Hz/80Hz/90Hz /100Hz/120Hz/150Hz/ 180Hz/220Hz/250Hz/ <b>Through</b>
SLOPE (スロープ)	-6dB/ <b>-12dB</b> / -18dB/ -24dB
PHASE (位相)	<b>Normal</b> /Reverse

### MEMO

- 太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

**5**  を1秒以上押して終了する



**MEMO**

• Front FC/Rear FC :  
設定された周波数 (カットオフ周波数) よりも低い成分をカットします。サブウーファーを追加するとき、この機能を使って、出力から低域成分をカットして高域のみの音にします。“Through” に設定すると、この機能をOFFにできません。

Front SLOPE/Rear SLOPE :  
Front FC/Rear FCで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

SW FC :  
設定された周波数 (カットオフ周波数) よりも高い成分をカットします。サブウーファー出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能を使って、出力から高域成分をカットして低域のみの音にします。“Through” に設定すると、この機能をOFFにできます。

SW SLOPE :  
SW FCで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

SW PHASE :  
サブウーファーの位相 (正相/逆相) を設定します。

**DSP設定を登録する**

DSP設定の登録を行います。  
登録できる設定項目は以下のとおりです。  
(P.58)

- ・ Manual Equalizer
- ・ Position
- ・ Car Type
- ・ Speaker
- ・ Car Type Adjust
- ・ X' Over

**1** オーディオ設定画面を表示する  
設定画面の表示方法は、「お好みの音質に設定しよう (オーディオコントロール)(DPX-U700)」(P.58)をご覧ください。

**2** **Detailed Setup** を選択する

**3** **Preset** を選択する

**4** **Preset Memory** を選択する

**5** 登録したいプリセット番号を選択する

プリセット番号	設定内容
1	メモリー 1 に登録します。リセットボタンを押しても消去されません。
2	メモリー 2 に登録します。リセットボタンを押しても消去されません。
3 ~ 5	メモリー 3 ~ 5 に登録します。
6	メモリー 6 に登録します。リセットボタンを押したとき、この設定が初期設定値になります。

**6** **YES** を選択する  
“Memory Completed” と表示されたら登録が完了です。

**7** **↵** を1秒以上押して終了する

本機の設定をする

### DSP設定を呼び出す

登録したDSP設定を呼び出します。

- 1 オーディオ設定画面を表示する  
設定画面の表示方法は、「**お好みの音質に設定しよう** (オーディオコントロール)(DPX-U700)」(P.58)をご覧ください。
- 2 **Detailed Setup** を選択する
- 3 **Preset** を選択する
- 4 **Preset Recall** を選択する
- 5 呼び出したい設定のプリセット番号を選択する
- 6 **YES** を選択する  
"Recall Completed" と表示されます。
- 7 **→** を1秒以上押して終了する



# お好みの音質に設定しよう（オーディオコントロール）（DPX-U500）

音響効果などを設定します。操作方法は、「Function設定を操作しよう」(P.17)を参照してください。

**1** いずれかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す

**2** **AUDIO CONTROL** を選択する

オーディオ設定画面が表示されます。

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。

太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示		設定内容	設定値
dB EQUALIZER*2		ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。 イコライザーカーブは音源ごとに設定できません。	USER*1/ROCK/ VOCAL/EASY/ DANCE/JAZZ/ GAME/ <b>NATURAL</b>
BASS ADJUST	BASS FREQ	調整する低音域の中心周波数を設定します。	40/50/60/70/80/ <b>100</b> /120/150 (Hz)
	BASS LEVEL	低音域の音量を調整します。	-8 ~ <b>0</b> ~ +8 (dB)
	BASS Q	低音クオリティファクターを設定します。	<b>1.00</b> /1.25/ 1.50/2.00
	BASS EXT	低音中心周波数の伸張設定のON/OFFを設定します。	ON/ <b>OFF</b>
MID ADJUST	MID FREQ	調整する中音域の中心周波数を設定します。	0.50/ <b>1.00</b> /1.50/ 2.00 (kHz)
	MID LEVEL	中音域の音量を調整します。	-8 ~ <b>0</b> ~ +8 (dB)
	MID Q	中音クオリティファクターを設定します。	<b>1.00</b> /2.00
TRE ADJUST	TRE FREQ	調整する高音域の中心周波数を設定します。	10.0/ <b>12.5</b> / 15.0/17.5 (kHz)
	TRE LEVEL	高音域の音量を調整します。	-8 ~ <b>0</b> ~ +8 (dB)
BALANCE		左右の音量バランスを調整します。	L15 ~ <b>0</b> ~ R15
FADER		前後の音量バランスを調整します。	R15 ~ <b>0</b> ~ F15

▶次ページへつづく

## 本機の設定をする

	表示	設定内容	設定値
DETAILED SET	SUPREME SET <sup>※3</sup>	Supreme機能のON/OFFを設定します。	ON/OFF
	NAV GUIDE	この機能をATTに設定すると、ナビ音声ガイド時にオーディオの音が小さくなります。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。	OFF/ATT
	VOLUME OFFSET	音源ごとの音量の差を調整します。音源を切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。	-8 ~ 0 (dB) (AUX: -8 ~ 0 ~ +8)

※1 “USER” 設定は、“BASS ADJUST”、“MID ADJUST”、“TRE ADJUST” の調整した値です。

※2 “dB EQUALIZER” 設定中は、  を押して、効果のHIGH/LOWを切り替えることができます。ただし、“NATURAL”、“USER” に設定しているときは調整できません。

※3 CD/USBのオーディオファイルを再生中に表示されます。

-  設定項目を選択する
-  ボリュームノブ（または   ）で設定値を選択する
-   を1秒以上押して終了する

## 音源ごとに設定を変更しよう

音源ごとに用意されている機能の設定を変更することができます。操作方法は、「Function 設定を操作しよう」(P.17) を参照してください。

-  設定を変更する音源に切り替えて、ボリュームノブを押す  
メニュー画面が表示されます。
-  **Settings** / **SETTINGS** を選択する  
各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。  
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。



音源	表示	設定内容	設定値
ラジオ	Seek Mode SEEK MODE	放送局の探しかたを設定します。 Auto 1/AUTO1 ：放送局を自動的に受信し ます。 Auto 2/AUTO2： ：登録されている放送局を順 番に受信します。 Manual/MANUAL ：1ステップずつ周波数が変わ ります。	Auto1/Auto2/ Manual AUTO1/AUTO2/ MANUAL
	Auto Memory AUTO MEMORY	受信状態の良い放送局を自動的 に登録します。(P.36)	—
	Forced MONO <sup>*1</sup> FORCED MONO <sup>*1</sup>	FMステレオ放送をモノラルで受 信します。 受信状態の悪いFM放送局を聴い ているときにモノラルに設定す ると、雑音が軽減されて聴きや すくなることがあります。	ON/OFF
iPod	Skip Search SKIP SEARCH	曲を探すときのスキップする割 合を設定します。(P.29)	0.5%/1%/5% /10%
	Delete My Playlist MPLIST DELETE	My Playlistのリストを削除しま す。(P.33)	—
AUX	AUX Name Set AUX NAME SET	音源をAUXに切り替えたときに表 示される名前を設定します。	AUX/DVD/ PORTABLE/ GAME/VIDEO/TV
USB	Skip Search SKIP SEARCH	Music Editorでデータを付加し ている場合に、曲を探すときの スキップする割合を設定します。 (P.24)	0.5%/1%/5% /10%
すべての音源	Clock & Date (DPX-U700のみ)	本機の時計と日付を合わせます。 (P.8) (P.57)	—
	Display & Illumination DISP & ILLUMI	ディスプレイの表示や色に関す る設定を行います。(P.50)	—
	LOG (DPX-U700のみ)	Log Function項目の削除、カテ ゴリ設定などを行います。(P.37)	—

\*1 FMラジオ受信時のみ。ONに設定すると、電力線などの強い電場により音質が落ちることがあります。そのような場合は、OFFに設定してください。

- 3** 設定項目を選択する
- 4** 設定値を選択する
- 5**  を1秒以上押して終了する

## Bluetoothの設定を変更しよう (DPX-U700)

ハンズフリーやBluetoothオーディオなど、Bluetoothに関する設定をします。操作方法は、「Function設定を操作しよう」(P.17)を参照してください。

**1** **LOG** を1秒以上押す  
Bluetoothモードになります。

**2** **Settings** を選択する  
各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。ハンズフリー選択時とBluetoothオーディオ選択時では、表示される項目が異なります。  
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

	表示	設定内容	設定値
PAIRING	Device Registration	Bluetooth機器を本機に登録（ペアリング）します。(P.43)	—
	Phone Selection	登録してある複数のBluetooth機器から、使用する機器を選択します。(P.70)	—
	Audio Selection		
	Special Device Select	通常に登録（ペアリング）ができない特殊な機器に登録します。(P.72)	—
	Device Delete	登録済みのBluetooth機器を削除します。(P.73)	—
SMS Download		携帯電話に届いたショートメッセージ (SMS) をダウンロードして、本機で読めるようにします。(P.70)	—
Voice Tag*4	PB Name Edit	電話帳に音声で呼び出すためのボイスタグに登録します。ボイスタグは最大35件まで登録できます。(P.71)	—
	PN Type Edit	電話番号のカテゴリ（種類）に音声で呼び出すためのボイスタグを付けます。(P.72)	—



	表示	設定内容	設定値
Detailed Setup	PIN Code Edit	Bluetooth機器側から登録（ペアリング）する際に必要なPINコードを設定します。(P.73)	—
	Auto Answer <sup>*1</sup>	着信コールの経過時間で自動的に電話を受け（応答）機能です。 OFF：自動着信しません。 OSEC：すぐに自動着信します。 1SEC～99SEC：1秒から99秒で自動着信します。	OFF/OSEC/ 1～8～99SEC
	Bluetooth HF/Audio	Bluetoothオーディオおよび受話音声を出力するスピーカーを設定します。 Front：フロントの左右のスピーカーから出力します。 All：フロントおよびリアの左右のスピーカーから出力します。	Front/All
	Call Beep	この機能をONにすると、携帯電話に着信があった場合にスピーカーからピープ音を鳴らして着信を知らせます。	ON/OFF
	BT F/W Update <sup>*2</sup>	ファームウェアのバージョン情報を表示します。	—
	MIC Gain <sup>*3</sup>	通話のときのマイクの音量を調整します。「+」に設定すると、音量が大きくなります。	-3～0～+3
	NR Level <sup>*3</sup>	周囲の雑音を除去するノイズリダクション機能を設定します。マイクの音量は変わりません。「+」に設定すると、除去の度合いが大きくなります。	-3～0～+3
	Echo Cancel Level <sup>*3</sup>	マイクとスピーカー間に生じるエコーやハウリングを低減するエコーキャンセル機能を設定します。「+」に設定すると、除去の度合いが大きくなります。	-2～0～+2

- ※1 携帯電話の自動着信設定を本機の設定より早い時間にしていると、携帯電話の設定が優先されます。また、割り込み通話中の着信には動作しません。
- ※2 ファームウェアのアップデート方法は、下記ホームページをご覧ください。  
<http://www.kenwood.com/cs/ce/bt/>
- ※3 「KCA-BT300」を接続しているときのみ設定できます。
- ※4 携帯電話を接続しているときのみ設定できます。

本機の設定をする

### 3 設定項目を選択する

### 4 設定値を選択する

#### MEMO

・さらに詳細な設定が必要な項目は、各説明ページをご覧ください。

### 5 **LOG** を1秒以上押しして終了する

### 接続するBluetooth機器を選択する

登録してある複数のBluetooth機器から、使用する機器を選択します。

**1** Settings画面を表示する  
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう (DPX-U700)」(P.68) をご覧ください。

**2** **PAIRING** を選択する

**3** **Phone Selection**、または**Audio Selection** を選択する

#### MEMO

- ハンズフリーを利用する場合は**Phone Selection**を、Bluetoothオーディオを利用する場合は**Audio Selection**を選択します。

**4** ボリュームノブを押す  
機器名が表示されます。

**5** 使用する機器を選択し、機器の接続を選択する

表示	内容
"*"	接続中
"-"	接続待機中
" " (空白)	接続解除

#### MEMO

- 既にBluetooth機器が選択されている場合は、既存の選択を接続解除 (空白を選択) してから新しいBluetooth機器を選択してください。

**6** **LOG** を1秒以上押しして終了する

### ショートメッセージ (SMS) をダウンロードする

携帯電話に届いたショートメッセージ (SMS) をダウンロードして、本機で読めるようにします。

**1** Settings画面を表示する  
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう (DPX-U700)」(P.68) をご覧ください。

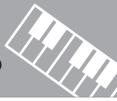
**2** **SMS Download** を選択する

**3** ボリュームノブを押す  
ディスプレイに“SMS Downloading”と表示され、ダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了すると“Completed”と表示されます。

**4** **LOG** を1秒以上押しして終了する

#### MEMO

- 携帯電話がBluetoothでショートメッセージを転送する機能をもっている必要があります。また、携帯電話側の設定が必要な場合があります。
- 携帯電話からショートメッセージをダウンロードすると、携帯電話内の未開封メッセージは開封済みとなります。
- 未読メッセージと既読メッセージは、それぞれ75件までダウンロードできます。



## 電話帳にボイスタグを設定する

電話帳に音声で呼び出すためのボイスタグを登録します。ボイスタグは最大35件まで登録できます。

**1** Settings画面を表示する  
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう (DPX-U700)」(P.68) をご覧ください。

**2** **Voice Tag** を選択する

**3** **PB Name Edit** を選択する

**4** ボイスタグを登録する名前を検索する

動作	操作
次の電話番号に移動する	ボリュームノブを回す。
次の名前に移動する	  を押す。

### MEMO

- **DISP** を押すごとに、名前（電話番号）と詳細情報を切り替えます。
- 既にボイスタグが登録されている場合は、名前の前に“\*”が表示されます。
- 電話帳にデータがない場合は、登録できません。

**5** ボリュームノブを押す  
名前が選択されます。

**6** 行う操作を選択する

表示	操作
PB Name Regist.	ボイスタグを登録します。
PB Name Check*	ボイスタグを再生します。
PB Name Delete*	ボイスタグを削除します。

\*ボイスタグを登録してある名前のみ表示。

●PB Name Regist. (登録) を選択した場合

**7** ディスプレイに“Enter Voice 1”と表示され、ビーブ音が鳴ったら2秒以内に名前のボイスタグを発生する  
ディスプレイに“Enter Voice 2”と表示されます。

**8** ビーブ音が鳴ったら2秒以内に手順7と同じ名前のボイスタグを発生する  
ボイスタグが認識されると、“Completed”と表示されます。

**9** ボリュームノブを押す  
ボイスタグの登録が終了します。

### MEMO

- 音声認識されないときはメッセージを表示します。メッセージの表示後にボリュームノブを押すと、再度音声の登録ができます。

**10** **LOG** を1秒以上押しして終了する

## 本機の設定をする

●PB Name Check (再生) を選択した場合  
登録されているボイスタグを再生します。

●PB Name Delete (削除) を選択した場合

**7** **YES** を選択する  
ボイスタグを削除して手順4に戻ります。

### MEMO

- ボイスタグの設定中は、オーディオの音声は出力されません。

## カテゴリのボイスタグを設定する

電話番号のカテゴリ (種類) に音声で呼び出すためのボイスタグを付けます。

**1** Settings画面を表示する  
設定画面の表示方法は「Bluetoothの設定を変更しよう (DPX-U700)」(P.68) をご覧ください。

**2** **Voice Tag** を選択する

**3** **PN Type Edit** を選択する

**4** 設定するカテゴリを選択する

表示	内容
General	一般
Home	自宅
Office	会社
Mobile	携帯電話
Other	その他

**5** 行う操作を選択する

表示	操作
PN Type Regist.	ボイスタグを登録します。
PN Type Check*	ボイスタグを再生します。
PN Type Delete*	ボイスタグを削除します。

\*ボイスタグを登録してある名前のみ表示。

以降の操作は、「電話帳にボイスタグを設定する」(P.71)「電話帳にボイスタグを設定する」の「●PB Name Regist. (登録) を選択した場合」の手順7～9を参照して、すべてのボイスタグを登録します。

**6** **LOG** を1秒以上押して終了する

### MEMO

- カテゴリのボイスタグは5種類すべて登録してください。登録されていないと音声で電話帳を呼び出すことができない場合があります。

## 特殊なBluetooth機器を登録する

本機からも携帯電話からも登録できない機器を本機に登録する方法を説明します。

**1** Settings画面を表示する  
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう (DPX-U700)」(P.68) をご覧ください。

**2** **PAIRING** を選択する

**3** **Special Device Select** を選択する

**4** 登録する機器を選択する



- 5** ボリュームノブを押す  
 “Completed”と表示されたら完了です。  
 以降の操作は、「Bluetooth機器を登録する」(P.43)を参照して登録(ペアリング)を行ってください。

**MEMO**

- 機器名が一覧に表示されない場合は“Other Phones”を選択して登録を試してください。

## Bluetooth機器の登録を削除する

登録済みのBluetooth機器を削除します。

- 1** Settings画面を表示する  
 設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう (DPX-U700)」(P.68)をご覧ください。
- 2** [PAIRING] を選択する
- 3** [Device Delete] を選択する  
 デバイス名が表示されます。
- 4** 削除するBluetooth機器を選択する
- 5** [YES] を選択する  
 “Completed”と表示されたら削除完了です。
- 6** [LOG] を1秒以上押しして終了する

**MEMO**

- 携帯電話の登録を削除すると、電話帳、履歴、SMS、およびボイスタグのデータも削除されます。

## PINコードを登録する

Bluetooth機器側から本機に登録する際に必要なPINコードを設定します。

- 1** BT Settings画面を表示する  
 設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう (DPX-U700)」(P.68)をご覧ください。
- 2** [Detailed Setup] を選択する
- 3** [PIN Code Edit] を選択する
- 4** PINコードを入力する

動作	操作
数字を選択する	ボリュームノブを回す
次の桁に移動する	[▶▶] を押す
最後の桁を削除する	[◀◀] を押す

- 5** ボリュームノブを押す  
 PINコードが登録されます。  
 “Completed”と表示されたら登録完了です。
- 6** [LOG] を1秒以上押しして終了する

**MEMO**

- 初期設定は“0000”に設定されています。
- 設定できるPINコードは8桁までの数字です。

本機の設定をする

## 初期設定を変更しよう

操作時の音に関する設定や、CDの読み込み方法に関する設定などを行います。操作方法は、「Function設定を操作しよう」(P.17)を参照してください。

- 1 音源をSTDBY/STANDBYに設定する
- 2 ボリュームノブを押す
- 3 **[Initial Settings]** / **[INITIAL SET]** を選択する  
各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。  
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示	設定内容	設定値
Source Select (DPX-U700のみ)	<b>[SRC]</b> を押ししたときの音源選択方法を切り替えます。 1: <b>[SRC]</b> を押すごとに音源の表示が切り替わります。 2: ボリュームノブを回して音源を選択します。	1/2
Tuner Preset Type PRESET TYPE	放送局をFM/AMの区別無しに登録します。 Type Normal/TYPE NORMAL : FM1/FM2/AM1/AM2の各バンドに6局ずつ登録できます。 Type Mixed/TYPE MIXED : FM/AM合わせて6局のみ登録できます。FM/AMの切り替えなしで呼び出せます。	<b>Type Normal/</b> Type Mixed <b>TYPE NORMAL</b> /TYPE MIXED
Beep KEY BEEP	操作時のピープ音を設定します。	<b>ON/OFF</b>
カンジ ユウセン (DPX-U700のみ)	CDテキストなどが漢字およびカタカナまたはローマ字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示するか、カタカナまたはローマ字で表示するか設定ができます。 ON: 漢字で表示(漢字が登録されていない場合は、カタカナまたは英/数文字で表示) OFF: カタカナまたは英/数文字で表示	<b>ON/OFF</b>
Built in AUX BUILT-IN AUX	音源選択時にAUXが表示されます。 ON: AUX音源に切り替えたときに、内部AUX端子に接続した外部機器の音声が出力されます。 OFF: 内部AUX端子を使用しないときに選択します。	<b>ON/OFF</b>
Forced CD-DA CD READ	CDの読み込み方法を設定します。 特殊なフォーマットのCDを再生中、正常に再生できない場合に強制的に再生させる機能です。ただし音楽CDによっては再生できない場合もあります。 1: 通常はこちらでご使用ください。 2: 音楽CDとして強制的に再生します。オーディオファイルの再生はできなくなります。	1/2



表示	設定内容	設定値
Built in AMP (DPX-U700のみ)	内蔵アンプの出力をON/OFFします。 フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるときは、この機能をOFFに設定することで、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。 内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトから出力される音質を向上させることができます。	ON/OFF
Switchable Preout * (DPX-U700のみ)	プリアウトの出力を設定します。 Rear：リア用出力に設定します。 SubWoofers：サブウーファー用出力に設定します。	Rear/ SubWoofers
System F/W Update F/W UP	以下の手順でファームウェアをアップデートします。 アップデートに関する情報は、 <a href="http://www.kenwood.co.jp/faq/">www.kenwood.co.jp/faq/</a> をご覧ください。	—

\* オーディオコントロール (P.58) の "2Zone" がOFFに設定しているときに表示されます。

- 4 設定項目を選択する
- 5 設定値を選択する
- 6  を1秒以上押して終了する

# 困ったときに

## 故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
操作ボタンを押しても動作しない	システムに異常が発生している。	リセットボタン(P.78)を押してください。
チューナーの感度が悪い	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。
FMIは受信できるがAMが受信できない	アンテナコントロール電源が接続されていない。	「配線をしましょう」(P.84)を参照して、正しく接続し直してください。
	アンテナ入力がきちんと接続されていない。	アンテナ入力を確実に接続してください。
ディスクが取り出せない	ディスクが排出の途中で止まっている。	ディスクが完全に排出されるまでイジェクトボタンを押し続けてください。
	車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。	ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。
CDやオーディオファイルを再生できない	ディスクが異常に汚れている。	「お気をつけください」(P.13)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	初期設定の“Forced CD-DA”項目を“2”に設定している。	「初期設定を変更しよう」(P.74)を見て、“Forced CD-DA”項目を“1”に設定してください。
オーディオファイル再生中に音飛びする	ディスクに傷や汚れがある。	「お気をつけください」(P.13)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	ディスク作成時に問題があった。	ディスクを作成し直すか、ほかのディスクを使用してください。
フォルダ検索をすると雑音が出る	オーディオファイルが入っていないフォルダが連続して存在すると雑音が出る場合があります。	オーディオファイルが入っていないフォルダは作成しないでください。
オーディオファイルの曲がスキップする	対応していないオーディオファイルを再生した。	<a href="http://www.kenwood.com/audiofile/">www.kenwood.com/audiofile/</a> を参照して、本機で再生できるオーディオファイルに変換してください。
演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない	オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。	—
iPodでの「ソングス」の曲数と本機での「ソングス」の曲数が違う	本機にiPodを接続すると、「ソングス」ではポッドキャストファイルは再生されません。	故障ではありません。

症状	原因	処置
USB機器を認識しない、またはUSB機器のオーディオファイルの音が出なくなった	USBコネクタが抜けている。	USB機器やUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。
ハンズフリー通話の受信音声小さい	ハンズフリー通話用の音量が小さくなっている。	ハンズフリー通話用のボリュームは独立しています。ハンズフリー通話中に音量を調節してください。
リアスピーカーから音が出ない	Bluetooth機器を使用している。 Bluetooth HF/Audioが“Front”に設定されている。	Bluetooth HF/Audioを“All”に設定すると、Bluetooth機器使用中もリアスピーカーから音が出ます。
着信時に呼び出し音が鳴らない	携帯電話によっては着信音が鳴らない場合があります。	着信呼出のビープ音設定(P.69)をオンに設定すると着信をビープ音でお知らせします。
音声を認識しない	車両の窓を開けている。	周囲の雑音が大きいと認識しづらくなります。車両の窓を閉めて雑音を少なくしてください。
	音声小さい。	音声小さいと認識しづらくなります。マイクに向かって、少し大きめに自然な発声で話してください。
	登録した人以外の方がボイスタグを発声している。	ボイスタグを登録した本人だけの音声を認識できます。
Bluetoothオーディオプレーヤーが登録（ペアリング）できない	PINコードが固定されている。	Bluetoothオーディオプレーヤーの説明書にPINコードが記載されている場合は、「PINコードを登録する」(P.73)で設定してから登録してください。または、PINコードの指定がない場合は「0000」を試してください。
Bluetoothオーディオプレーヤーの音声が途切れる	本機とオーディオプレーヤーの距離が離れている。	オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他のBluetooth機器が通信を妨げている。	他のBluetooth機器の電源を切ってください。または他のBluetooth機器を遠ざけてください。
	他のBluetooth機器、または他のプロファイルで通信を行っている。	電話帳やSMSのダウンロードを行うと音声途切れることがあります。

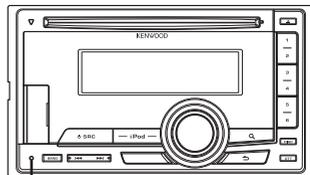
## 困ったときに

# 異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」(P.76)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押ししてください。

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源を切り、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- ディスクが取り出せない。
- ディスクを正しく入れ直してもインジケータの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに「AUX EXT」と表示される。
- KCA-S220A、CA-C1AX/CA-C2AXが接続されていないときに「AUX EXT」と表示される。



リセットボタン

## こんなメッセージが表示されたら…

操作ができない場合のメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

メッセージ	原因	処置
TOC Error/ TOC ERROR :	ディスクが異常に汚れています。	「お気をつけください」(P.13)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	ディスクに傷が多く付いています。	傷のあるディスクはご使用にならないでください。
	ディスクが裏返しになっています。	ディスクを正しい向きで挿入し直してください。
	ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていません。	ディスクを入れてください。
Error 05/ ERROR 05 :	ディスクの読み込みができません。	ディスクを正しい向きで挿入し直してください。
Read Error READ ERROR :	接続しているUSB機器またはiPodのファイルシステムが破損しています。	USB機器/iPodのファイル、フォルダをコピーし直してください。 それでもエラー表示が消えない場合は、USB機器/iPodをフォーマットするか、他のUSB機器/iPodを使用してください。
Unsupported File/NA FILE :	サポートされていないフォーマットのオーディオファイルを再生しようとしてしました。	本機でサポートされているフォーマットのオーディオファイルをご使用ください。
Copy Protection/ COPY PRO :	再生しようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。	ファイルのコピープロテクトを解除してください。

メッセージ	原因	処置
Eject :	ディスクマガジンがセットされていません。	ディスクマガジンをセットしてください。
	ディスクマガジンが完全に入っていません。	ディスクマガジンを奥まで入れてください。
Err No Matching :	ボイスタグが異なる、登録されていないなどで認識できません。	「電話帳にボイスタグを設定する」(P.71)を参照して、登録したボイスタグを確認してください。
Too Long :	単語または発話が長すぎて認識できません。	もっと短く発話してください。
Too Loud :	声が大きすぎて認識できません。	もっと小さな声で発話してください。
Too Soft :	声が小さすぎて認識できません。	もっと大きな声で発話してください。
Memory Full :	電話帳に登録できるボイスタグの件数を超えました。登録できる件数は35件までです。	「電話帳にボイスタグを設定する」(P.71)を参照して、不要なボイスタグを削除してください。
HF Disconnect/ HF D-CON :	携帯電話と通信できません。	他の携帯電話が通信を妨げている可能性がある場合、他の携帯電話の電源を切るか遠ざけてください。
HF Error 07 :	メモリーにアクセスできません。	本機の電源をオフ/オンします。表示が出続ける場合は本機のリセットボタン(P.78)を押してください。
HF Error 68 :	携帯電話と通信できません。	本機の電源をオフ/オンします。表示が出続ける場合は本機のリセットボタン(P.78)を押してください。
Unknown :	Bluetooth機器を検出できません。	場所を移動してから Bluetooth機器の検索を行ってください。

## 困ったときに

本機のシステムに不具合があるときや操作が受け付けられないときのメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

メッセージ	原因	処置
Mecha Error/ Mecha ERR/ ERROR 99/:	何らかの原因で正常に動作していません。	イジェクトボタンを押してください。 それでも表示が消えないときは本機のリセットボタン (P.78) を押してください。 上記の処置を施しても表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
IN (点滅) :	CDプレーヤーが正常に動作していません。	CDを一度取り出してから、再度挿入してください。それでも表示が消えないときは本機のリセットボタン (P.78) を押してください。 上記の処置を施しても表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
Reading/ READING :	ディスクに収録されているデータのチェック中です。	チェックが終われば正常に作動します。
Protect (点滅) /PROTECT :	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシに接触したために、保護回路が働きました。	スピーカーコードを適切に配線/絶縁しなおしてから、本機のリセットボタン (P.78) を押してください。 それでも表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
Hold Error/ HOLD :	ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になったため、保護回路が働き、動作しなくなっています。	本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてください。
Load :	ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。	交換が終われば正常に作動します。
No Device/ NO DEVICE :	USB機器/iPodが接続されていないときに、音源をUSB/iPodに切り替えました。	USB/iPod以外の音源に変えてください。その後、USB機器/iPodを接続し、再度音源をUSB/iPodにしてください。
N/A Device/ NA DEVICE :	サポートされていないUSB機器/iPodを接続しました。	接続したUSB機器/iPodがサポートされているか確認してください。 サポートされているUSB機器/iPodについては、「本機で使えるメディアとオーディオファイル」(P.21)、「iPodについて」(P.26)を参照してください。 それでも表示が消えない場合は、いったんUSB機器/iPodを取り外し、再び接続してください。
No Music Data/ No Music/ NO MUSIC/ Error 15/ERROR 15 :	接続されているUSB機器/iPodには、再生できるフォーマットのオーディオファイルがありません。	再生可能なフォーマットのオーディオファイルが入ったUSB機器/iPodを接続してください。

メッセージ	原因	処置
USB Error/ USB ERROR :	接続されているUSB機器に不具合が発生した可能性があります。	iPodを本機から取り外し、iPodのリセット（設定メニュー内の「リセット」とは異なります）を行った後、再度本機に接続してください。iPodのリセット方法についてはアップル社のウェブサイトを参照してください。
iPod Error/ iPod ERROR :	iPodとの接続に不具合が発生しています。	<p>「<b>iPodについて</b>」(P.26) を参照して、接続しているiPodが本機で使えるiPodかどうか確認してください。</p> <p>iPodをiPod接続ケーブルから取り外し、接続し直してください。</p> <p>iPodのソフトウェアを最新のものにアップデートしてから接続してください。</p>
No Voice :	音声が認識できませんでした。	もう一度発声してください。
Connect NG :	Bluetooth機器に接続できません。	接続を確認してください。
Device Full :	すでにBluetooth機器が5台登録されておりこれ以上登録できません。	「 <b>Bluetooth機器の登録を削除する</b> 」(P.73)を参照して、デバイスを削除してください。
No Data :	<p>発信履歴がありません。</p> <p>着信履歴がありません。</p> <p>不在着信履歴がありません。</p> <p>電話帳にデータがありません。</p>	履歴があればエラーメッセージは表示されません。
No Entry :	携帯電話を機器登録（ペアリング）していません。	「 <b>Bluetooth機器を登録する</b> 」(P.43)を参照して、携帯電話を登録してください。
No Number :	<p>電話番号の通知がない着信時に表示します。</p> <p>電話番号のデータがない時に表示します。</p>	<p>電話番号の通知がある着信時は、エラーメッセージは表示されません。</p> <p>電話番号のデータがある時は、エラーメッセージは表示されません。</p>
No Message :	SMSのデータがありません。	SMSのデータがある時は、エラーメッセージは表示されません。
No Phonebook :	電話帳にデータがありません。	「 <b>電話帳をダウンロードする</b> 」(P.45)を参照して、電話帳のデータを本機にダウンロードしてください。
No Record :	電話帳にボイスタグが登録されていません。	「 <b>電話帳にボイスタグを設定する</b> 」(P.71)を参照して、電話帳にボイスタグを登録してください。
Pairing Failed :	ペアリングエラーです。	「 <b>「KCA-BT200/BT300」で使える携帯電話</b> 」(P.42)を参照して、対応する機器が確認してください。
PIN Code NG :	PINコードが違います。	PINコードを確認してください。

# 本機を取り付けるときは

## 必ずお読みください

### 警告



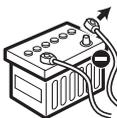
禁止

- 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V ⊖ アース車専用です。



実施

- 配線作業中は、バッテリーの ⊖ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



- 本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



- 本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



- 車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



- バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

- 電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。

## 警告



実施

- 本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



禁止

- 事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

- コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



- 本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。



- アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

- 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



- 本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

- 本製品は自動車のコンソールに設置してください。本製品の使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

- バッテリーの ⊖ 端子を外すと、車に装着しているコンピューターのメモリーが消えたり、車両(外国車など)の電装系に不具合が発生する場合があります。詳しくはカーディーラーにお問い合わせください。

本機を取り付けるときは

## 配線をしましょう

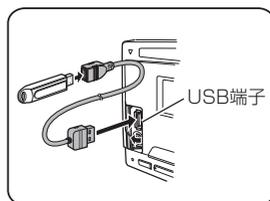
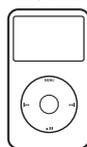


### 実施

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

1. エンジンキーを抜き、バッテリーの⊖端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン（P.78）を押します。

iPod(市販品)



KCA-iP102(別売品)

USB機器(市販品) USBケーブル(別売品)

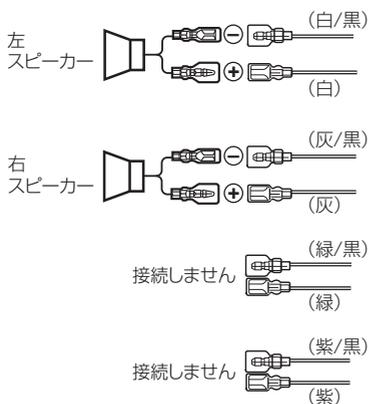


※使用するUSBケーブルには、CA-U1EX(別売品)をお薦めします。

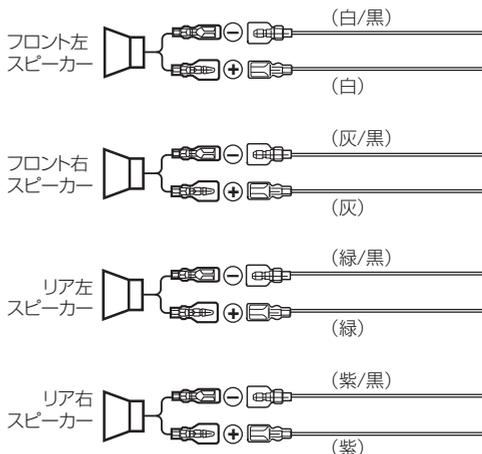


電源ハーネスはカチッと音がするまで確実に差し込んでください。

### 2スピーカー時のスピーカー接続方法



接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。

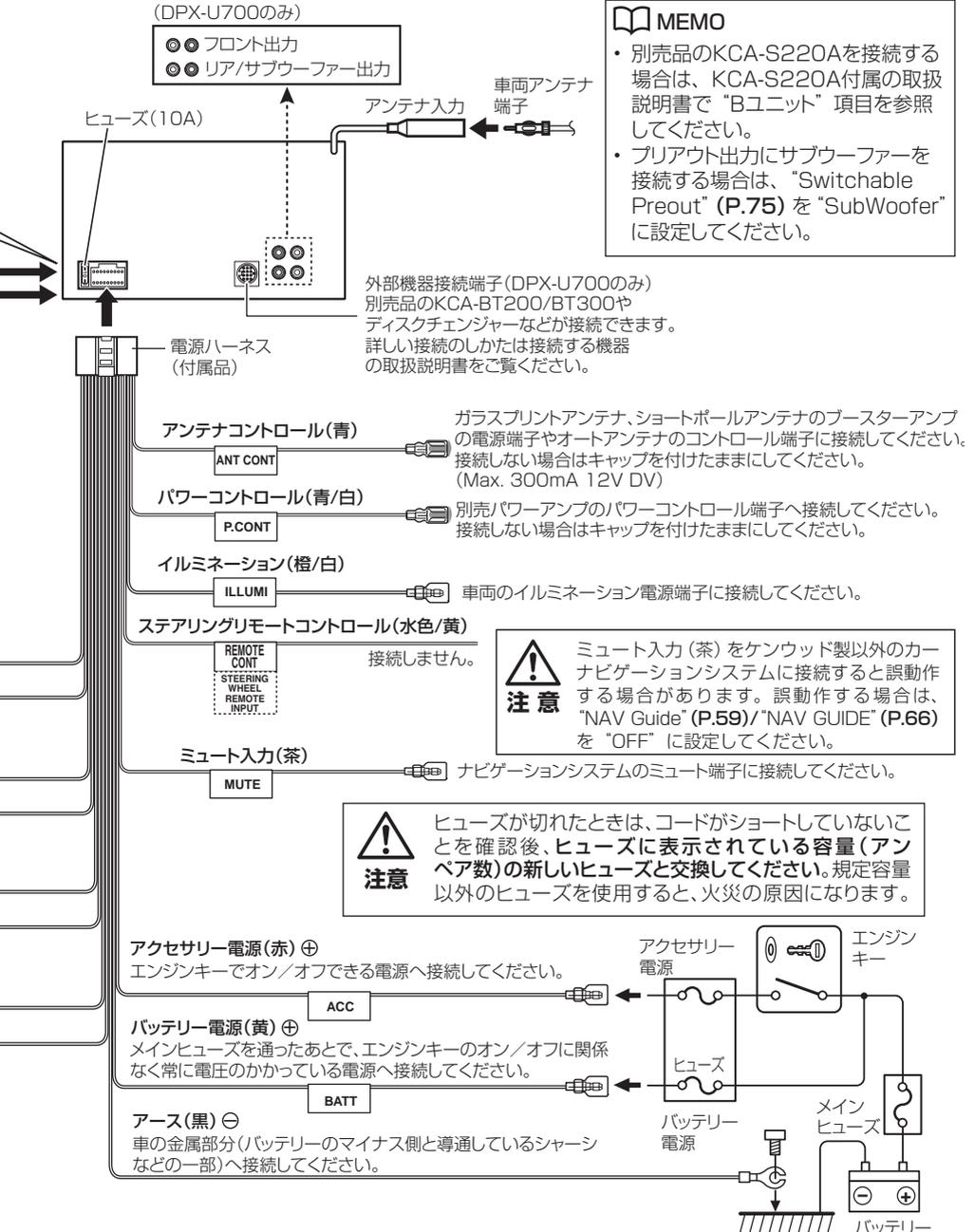


・スピーカーコードの⊕ ⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。  
・複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

## 本機を取り付けるときは

### MEMO

- 別売品のKCA-S220Aを接続する場合は、KCA-S220A付属の取扱説明書で“Bユニット”項目を参照してください。
- プリアウト出力にサブウーファーを接続する場合は、“Switchable Preout” (P.75) を“SubWoofer”に設定してください。



## 本機を取り付けるときは

# 取り付けましょう

本機を車両ブラケットに取り付ける手順をご紹介します。

使用するのは、付属のトラスネジ (M5×6mm) またはサラネジ (M5×7mm) を6本です。

### MEMO

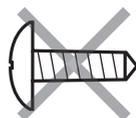
- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用すれば、ご使用のお車に最適の方法で取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。



#### ● 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

なお、取り付けネジはトラスネジおよびサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



## 本機に付属しているネジ

 トラスネジ (M5×6 mm) ×6

 サラネジ (M5×7 mm) ×6

 セムスネジ (M4×8 mm) ×1

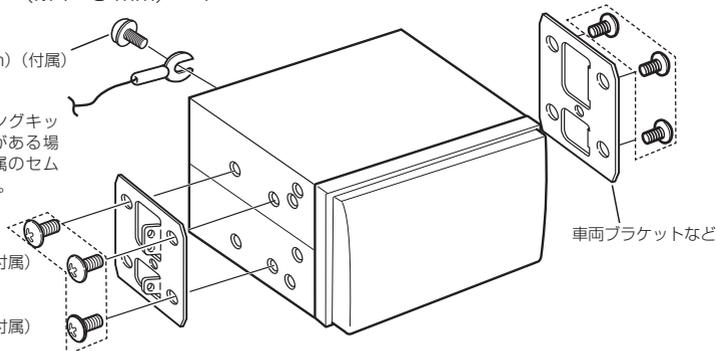
トラスネジ (M5×6mm) (付属)  
または  
サラネジ (M5×7mm) (付属)

セムスネジ  
(M4×8mm) (付属)



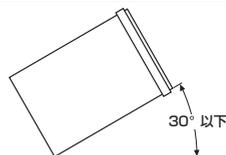
別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。

トラスネジ  
(M5×6mm) (付属)  
または  
サラネジ  
(M5×7mm) (付属)



● 本機取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。

● 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



# 用語集

## AAC (エーエーシー)

正式名「Advanced Audio Coding」の略称で、デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.21)をご覧ください。

## MP3 (エムピースリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称で、DVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.21)をご覧ください。

## WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.21)をご覧ください。

## ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー(KDC-C520など)やマルチメディアプレーヤー(VD-C77)です。

# 商標について

- Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。
- The “AAC” logo is a trademark of Dolby Laboratories.
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

# 仕様

## FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ) :

76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)

実用感度 (S/N : 26 dB)

DPX-U700 : 8.1 dBf (0.7  $\mu$ V/75  $\Omega$ )

DPX-U500 : 11.2 dBf (1  $\mu$ V/75  $\Omega$ )

クワイティング感度 (S/N : 46 dB)

DPX-U700 : 15.3 dBf (1.6  $\mu$ V/75  $\Omega$ )

DPX-U500 : 19.2 dBf (2.5  $\mu$ V/75  $\Omega$ )

周波数特性 ( $\pm 3.0$  dB) : 30 Hz ~ 15 kHz  
S/N比

DPX-U700 : 65 dB (MONO)

DPX-U500 : 63 dB (MONO)

ステレオセパレーション

DPX-U700 : 35 dB (1 kHz)

DPX-U500 : 40 dB (1 kHz)

## AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ) :

522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)

感度 (S/N 20 dB)

DPX-U700 : 28 dB $\mu$  (25  $\mu$ V)

DPX-U500 : 31 dB $\mu$  (36  $\mu$ V)

## CDプレーヤー部

レーザーダイオード : GaAlAs

デジタルフィルター :

8倍オーバーサンプリング

D/Aコンバーター : 24 Bit

回転数 (オーディオファイル) :

500 ~ 200 rpm (線速度一定)

ワウ&フラッター : 測定限界以下

周波数特性 : 10 Hz ~ 20 kHz ( $\pm 1$  dB)

高調波歪み率 : 0.008 % (1 kHz)

S/N比 : 105 dB (1 kHz)

ダイナミックレンジ : 93 dB

MP3デコード :

MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠

WMAデコード :

Windows Media™ Audio 準拠

AACデコード : AAC-LC “.m4a” ファイル

## USB I/F部

USB規格 : USB 1.1/2.0 (Full speed対応)

ファイルシステム : FAT16/32

最大供給電流 : 500 mA

MP3デコード : MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠

WMAデコード : Windows Media™ Audio 準拠

AACデコード : AAC-LC形式 “.m4a” ファイル

## オーディオ部

最大出力 : 50 W  $\times$  4

定格出力 : 30 W  $\times$  4 (4 $\Omega$ , 1kHz, 10%THD以下)

スピーカーインピーダンス : 4 ~ 8  $\Omega$

プリアウトレベル (CD/CD-CH)

DPX-U700 : 2500 mV/10 k $\Omega$

プリアウトインピーダンス : 600  $\Omega$ 以下

オーディオコントロール

DPX-U700 :

バンド1 60 Hz  $\pm$  9 dB

バンド2 250 Hz  $\pm$  9 dB

バンド3 1 kHz  $\pm$  9 dB

バンド4 4 kHz  $\pm$  9 dB

バンド5 16 kHz  $\pm$  9 dB

DPX-U500 :

Bass 100 Hz  $\pm$  8 dB

Middle 1 kHz  $\pm$  8 dB

Treble 12.5 kHz  $\pm$  8 dB

## AUX入力

周波数特性 : 20 Hz ~ 20 kHz ( $\pm 1$  dB)

入力最大電圧 : 1200 mV

入力インピーダンス : 10 k $\Omega$

## 電源部

電源電圧 : 14.4 V (11 ~ 16 V)

最大消費電流 : 10 A

## 寸法・質量

埋込寸法 (W  $\times$  H  $\times$  D) :

178  $\times$  100  $\times$  155 mm

質量 (重さ) : 1.5 kg

## 付属部品

電源ハーネス：1本

トラスネジ(M5 × 6 mm)：6本

サラネジ(M5 × 7 mm)：6本

セムスネジ(M4 × 8 mm)：1本

## MEMO

- これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

# 保証とアフターサービス（必ずお読みください）

## 保証について

### ● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(P.76)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去される場合があります。あらかじめご了承ください。**

### ● 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。  
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

### ● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

● 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒に持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）

● 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### ● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

● 技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

● 部品代：修理に使用した部品代です。  
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

## 保証とアフターサービス（必ずお読みください）

# ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	☎ 004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29	☎ (011) 807-3003

東北			
仙台サービスセンター	☎ 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13	☎ (022) 287-0151

関東・信越			
さいたまサービスセンター	☎ 331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎ (048) 778-8714
千葉サービスセンター	☎ 277-0863	柏市豊四季512-10-67	☎ (04) 7171-3800
横浜サービスセンター	☎ 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
八王子サービスセンター	☎ 192-8525	東京都八王子市石川町2967-3	☎ (042) 646-6914
新潟サービスセンター	☎ 950-0913	新潟市中央区鏡1-5-23	☎ (025) 245-2177
大田サービスセンター	☎ 146-0082	東京都大田区池上2-8-10 プラムビル1F	

(修理持込専用窓口) 電話でのお問い合わせは、カスタマーサポートセンター(裏表紙をご覧ください)にて承ります。

中部・甲州			
名古屋サービスセンター	☎ 481-0041	北名古屋市長九之坪輪田121-1	☎ (0568) 24-1644
静岡サービスセンター	☎ 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	☎ 921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎ (076) 269-2935

近畿・四国			
大阪サービスセンター	☎ 532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	☎ (06) 6390-8005
高松サービスセンター	☎ 761-8057	高松市田村町205-1	☎ (087) 802-6055

中国			
広島サービスセンター	☎ 730-0825	広島市中区光南3-9-17	☎ (082) 241-0023

九州			
福岡サービスセンター	☎ 812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F	☎ (092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	☎ 891-0114	鹿児島市小松原1-5-17	☎ (099) 268-0030
沖縄サービスセンター	☎ 901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	☎ (098) 898-3631

### ■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間 10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）



このシンボルマークはケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)  
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960

FAX 045-450-2287

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録 (My Kenwood) をお願いしています。弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。  
<http://jp.my-kenwood.com>